

TASKalfa 255
TASKalfa 255b
TASKalfa 305

クイックガイド



ご使用前に必ずこのクイックガイドをお読みください。お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

はじめに

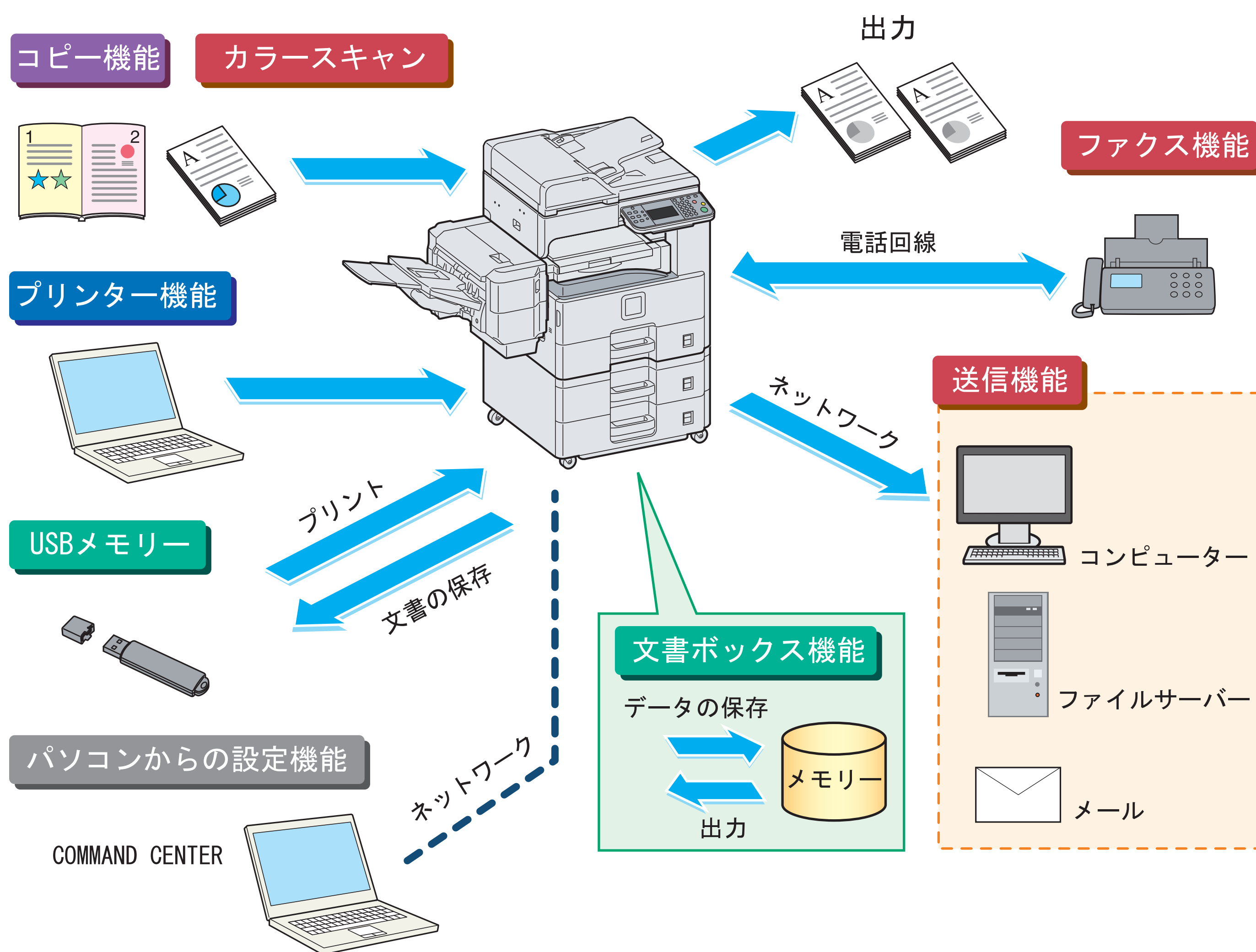
TASKalfa 255/TASKalfa 255b/TASKalfa 305をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

本書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい設置のしかたや操作方法、および簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ず本書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。

こんなことができます

本機は、コピー機能や印刷機能を標準で装備し、カラースキャンした画像データをメールに添付して送信したり、ネットワーク上のパソコンに送信することができます。また、オプションでファクス機能を使用することもできます。



コピー機能

[スタート]キーを押すだけで簡単に印刷できます。最大用紙サイズはA3です。両面機能や集約機能などの便利な機能を備えています。

コピー機能を使う ▶24ページ



プリンター機能

本機を10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tインターフェイスに対応したネットワークプリンターとして使用できます。USBメモリーから直接PDFデータを印刷することもできます。

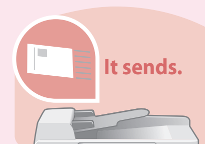
プリンター機能を使う ▶ 26ページ



送信機能（カラースキャン）

本機を10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tインターフェイスに対応したネットワークスキャナーとして使用できます。TWAINを利用したスキャン、コピー感覚で原稿をパソコンに保存できるフォルダー送信と、多彩なスキャニングに対応します。

送信機能を使う ▶ 30ページ



ファクス機能

本機を高速送信が可能なスーパーG3規格に対応したファクスとして使用できます。パソコンからファクスを送信したり、ファクス受信した原稿を他のファクスやパソコンに転送することができます。

ファクス機能を使う ▶ 36ページ

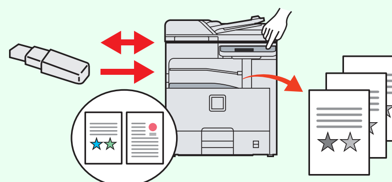


文書ボックス機能

文書ボックスとはパソコンからの印刷データ（ジョブ）を本機内に保存したり、またスキャンした文書や印刷データ（ジョブ）をUSBメモリーに保存したり、さまざまに活用できる機能です。

▶ 使用説明書 7 章「文書ボックスを使う」参照

▶ ファクス使用説明書 6 章「べんりなファクス機能を使う」参照

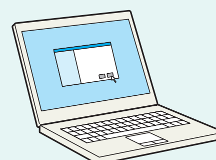


パソコンからの設定機能

●COMMAND CENTER

パソコンのWebブラウザー上で本機の状況確認や各種設定の変更などが可能です。IPアドレスを入力するだけで本機に簡単にアクセスでき、管理がスムーズに行えます。

COMMAND CENTER ▶ 20ページ



付属マニュアルの紹介

本製品に付属のCD-ROM（Product Library）には、PDF 形式のマニュアルが収録されています。目的に応じてお読みいただき、本機を十分にご活用ください。

付属の各マニュアル（印刷物）の概要

マニュアル	説　明
クイックガイド（本書）	本機のかんたんな操作のしかたや、便利な使いかた、トラブルでこまったときの対処方法などについて説明しています。
セットアップガイド	本機の設置方法について説明しています。
セーフティーガイド（冊子）	本機の設置や使用上の注意事項について説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。
セーフティーガイド（TASKalfa 255/TASKalfa 255b/TASKalfa 305）	本機の設置スペース、注意ラベルなどについて説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

付属のCD-ROMに収録されている各マニュアルの概要



CD-ROMメニュー	マニュアル	説　明
本体説明書	使用説明書*	用紙の補給やコピー、印刷、スキャンの操作方法、各種初期設定などについて説明しています。
	ファクス使用説明書*	ファクスの機能について説明しています。
	ICカード認証キット(B)使用説明書	ICカードを使って本機に認証を行うための操作手順について説明しています。
ソフトウェア説明書	京セラCOMMAND CENTER操作手順書	パソコンからWeb ブラウザーで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明しています。
	プリンタードライバー操作手順書	プリンタードライバーをインストールする方法や、プリンター機能について説明しています。
	Network FAX ドライバー操作手順書	Network FAX 送信機能を使用するために、Network FAX ドライバーのインストール方法や操作方法について説明しています。
	KM-NET for Direct Printing操作手順書	Adobe Acrobat/Reader を起動せずにPDF ファイルを印刷できる機能について説明しています。
	KMnet Viewer 操作手順書	KMnet Viewer で、ネットワーク上のプリントシステムをモニターする方法について説明しています。
	プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル	ネイティブプリンター言語（プリスクライブコマンド）について説明しています。
	プリスクライブコマンドテクニカルリファレンス	プリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに説明しています。

マニュアルをご覧になるためにはAdobe Reader のバージョン8.0 以上をインストールする必要があります。

* 京セラミタのホームページから、ダウンロードすることができます。
（http://www.kyoceramita.co.jp/support/prod_inf/manual.html）

目次

操作パネルの使いかた

操作パネルのみかた 6
タッチパネル 7
簡単セットアップウィザード 8
お気に入りの使いかた 10
ヘルプ画面の使いかた 12
ログイン画面が表示されたときは 12
工場出荷時のユーザー名およびパスワードについて 12

ソフトウェアのインストール

付属のソフトウェアについて 13
収録ソフト（Windows） 13
Windows にプリンタードライバーをインストールする 14
Windows に Network FAX ドライバーをインストールする 16
Macintosh へのインストール 18

パソコンから本機を設定する

COMMAND CENTER を使ってパソコンから設定する 20

共通操作

電源の入れかた / 切りかた 21
用紙のセット 22
カセットに用紙をセットします 22
手差しトレイに用紙をセットします 23

コピー機能を使う

コピーする 24
コピーでよく使う機能 24

プリンター機能を使う

印刷のしかた 26
簡単設定タブ 27
印刷を中止するときは 27
はがきや封筒に印刷する 28
＊原稿サイズの登録について 28

送信機能を使う

送信機能を使用するための準備 30
文書を送信する 31
送信でよく使う機能 32
宛先の指定方法 34

ファクス機能を使う

ファクスする 36
ファクスでよく使う機能 36
宛先の指定方法 40
ファクス機能を使用するための接続 42
アドレス帳の登録 43
解像度を設定する 44
読み込む濃度を調整する 45
原稿に合わせて画質を選択する 45

べんりな使いかた

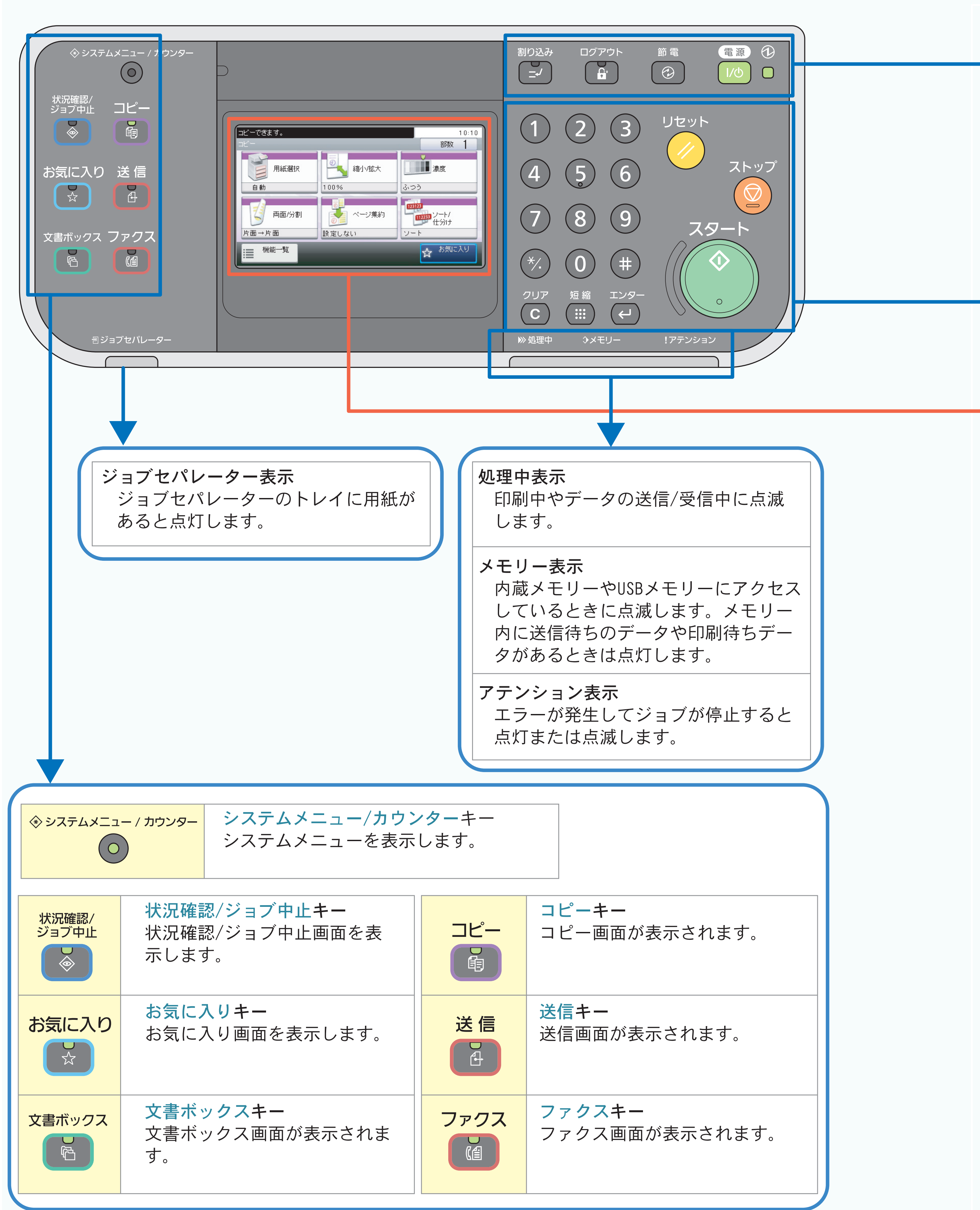
べんりな機能 46
資料をきれいに作りたい 46
効率よく作業したい 46
経費を節約したい 48
もっと使いこなしたい 48
セキュリティーを強化したい 50

こんなときどうしたらいいの

エラーが発生したら 51
紙づまりが発生したら 52
トナーコンテナ・廃棄トナーボックスの交換 53
トナーコンテナ 53
廃棄トナーボックス 53
カウンターの確認とレポートの印刷のしかた 54
ファクスの送信 / 受信履歴 55
本機のシリアル番号の確認 55
日付と時刻の設定 56

操作パネルのみかた

操作パネルのキーと表示、タッチパネルの説明をします。



ジョブセパレーター表示
ジョブセパレーターのトレイに用紙があると点灯します。

処理中表示
印刷中やデータの送信/受信中に点滅します。

メモリー表示
内蔵メモリーやUSBメモリーにアクセスしているときに点滅します。メモリー内に送信待ちのデータや印刷待ちデータがあるときは点灯します。

アテンション表示
エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。

システムメニュー / カウンター	**システムメニュー/カウンター**キー システムメニューを表示します。

状況確認/ジョブ中止	**状況確認/ジョブ中止**キー 状況確認/ジョブ中止画面を表示します。	コピー	**コピー**キー コピー画面が表示されます。
お気に入り	**お気に入り**キー お気に入り画面を表示します。	送 信	**送信**キー 送信画面が表示されます。
文書ボックス	**文書ボックス**キー 文書ボックス画面が表示されます。	ファクス	**ファクス**キー ファクス画面が表示されます。

割り込み	**割り込みキー** 割り込みコピー画面が表示されます。	節電	**節電キー** 本機を低電力モードにします。低電力モードのときは低電力モードから復帰します。	
ログアウト	**ログアウトキー** 管理画面の操作を終了（ログアウト）します。	電源	**電源キー** 本機をスリープ状態にします。スリープ状態のときはスリープから復帰します。	**電源表示** 本機の主電源がONのときに点灯します。

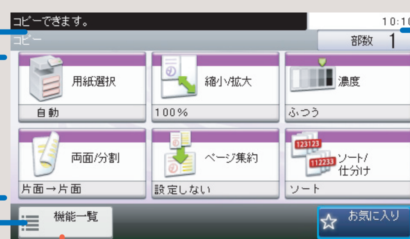
	テンキー 数字や記号を入力します。	リセット	**リセットキー** 設定値を初期状態に戻します。
クリア	**クリアキー** 入力した数値や文字を消去します。	ストップ	**ストップキー** 動作中のジョブを中止、または一時停止します。
短縮	**短縮キー** 短縮番号の入力画面を表示します。	スタート	**スタートキー** コピー、スキャンや、設定動作の処理を開始します。
エンター	**エンターキー** テンキー入力の確定や、機能設定中の画面を確定します。画面上の［OK］と連動しています。		

タッチパネル

●本機の状態や必要な操作のメッセージを表示します。

●選択できる機能を表示します。

●より詳細な機能を設定します。



●時刻やコピー枚数を表示します。

●本機の状態や必要な操作のメッセージを表示します。

●選択できる機能や設定値を表示します。



●画面をスクロールして表示しきれない部分を表示します。

●［ショートカット］に機能を登録することができます。

簡単セットアップウィザード

簡単セットアップウィザードの使い方について説明します。

本機の基本的な設定をウィザード形式(対話選択形式)で簡単に設定することができます。

本機には、次の簡単セットアップがあります。

簡単セットアップ	設定内容	
用紙のセットアップ	各カセットと手差しの用紙サイズと用紙種類の設定を行ないます。	
	1.カセット1の設定	カセット1 - 用紙サイズ
		カセット1 - 用紙種類
	2.カセット2の設定	カセット2 - 用紙サイズ
		カセット2 - 用紙種類
	3.カセット3の設定	カセット3 - 用紙サイズ
		カセット3 - 用紙種類
	4.手差しの設定	手差し - 用紙サイズ
		手差し- 用紙種類
	5.完了	
省エネのセットアップ	スリープと省電力モードの設定を行ないます。	
	1.スリープ設定	スリープモード - オートスリープ
		スリープ設定 - スリープ時間
		スリープ設定 - スリープレベル
	2.省電力モード設定	低電力モード設定 - 低電力モード時間
	3.完了	

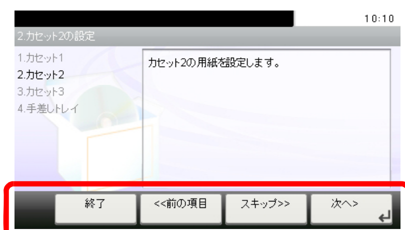
ワンポイント

本機は、国際エネルギースタープログラムの基準に準拠しており、工場出荷時は1分で低電力モードに移行するように設定されています。

オプションのファクスには、次の簡単セットアップがあります。

簡単セットアップ	設定内容	
ファクスのセットアップ	ファクスの基本設定を行ないます。オプションのファクスを装着時に表示されます。	
	1.基本	回線設定 - 回線種類
		回線設定 - 受信方式
	2.自局の登録	自局名登録
		自局名登録(フリガナ)
		自局情報 - 自局番号
		自局情報 - 自局ID
		自局情報 - 自局印字位置
	3.音量	スピーカー音量
		モニター音量
	4.ベル回数	普通
		留守番電話
		ファクス/電話切替
	5.排紙先	出力 - 排紙先
		出力 - 縮小受信
	6.リダイヤル - リダイヤル回数	
	7.Fネット	Fネット - Fネット無鳴動受信
	8.完了	

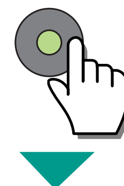
画面の操作

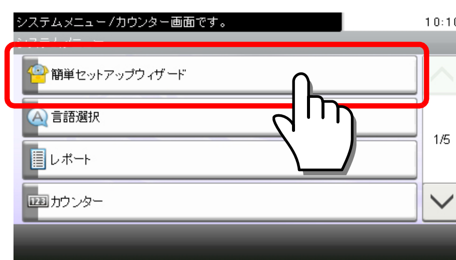


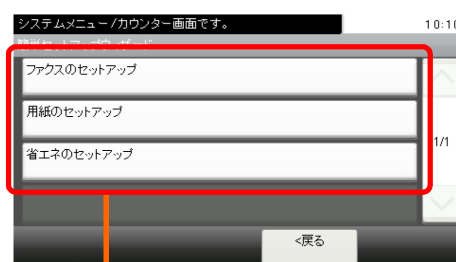
ボタン	説　明
	ヘルプを表示します。
終了	ウィザードを終了します。それまでに設定した内容は適用されます。
<<前の項目	前の項目に戻ります。
スキップ>>	現在の項目を設定せずに次の項目に進みます。
次へ>	次の項目に進みます。
完了	設定を登録してウィザードを終了します。

1 ウィザードの表示

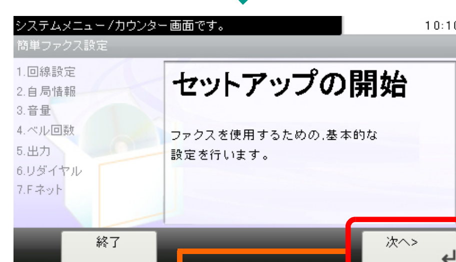
◈ システムメニュー / カウンター







表示された簡単セットアップを選択します。



[次へ>]を押して、ウィザードを開始します。

画面の指示に従って設定します。

お気に入りの使いかた

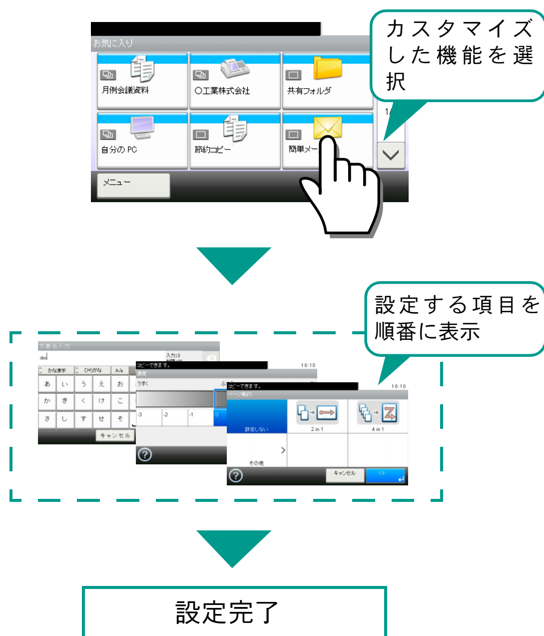
お気に入りの使いかたについて説明しています。

お気に入りは、よく使うコピーや送信の作業をカスタマイズして登録しておき、毎回設定しなくてもタッチパネルから登録しているボタンを選んで、すばやく設定を呼び出す機能です。

カスタマイズされた機能の呼び出し方法は、次の2種類から選択できます。

ウィザード形式（対話選択形式）

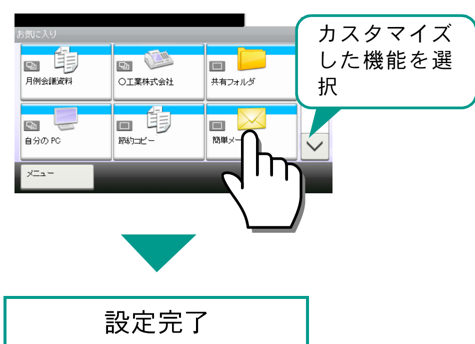
登録した設定項目を確認/変更しながら設定することができます。



設定完了

プログラム形式

登録されているボタンを押すと、すぐに設定を呼び出します。

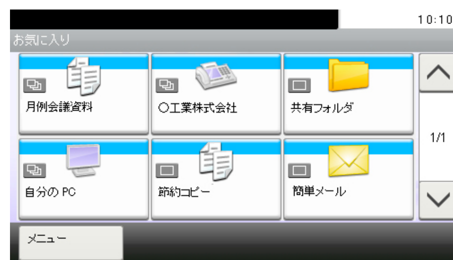


設定完了

1 ［お気に入り］キーを押す

お気に入り





お気に入り画面が表示します。

ワンポイント
カスタマイズした機能を20件登録できます。
登録した機能を変更したり、削除することができます。

お気に入りの登録のしかた
▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「お気に入り」参照

2 ウィザード形式（対話選択形式）で呼び出す

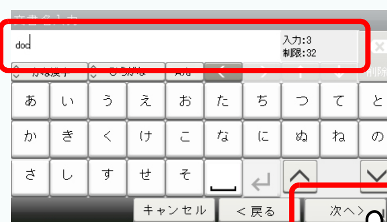
1

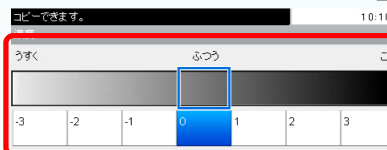


カスタマイズした機能を選択します。

2

設定画面が順番に表示されますので、表示される画面の設定を行い、[次へ>]または[OK]を押します。







ワンポイント
表示される画面は登録時に設定できます。

3



設定内容を確認します。

[スタート]を押すと、印刷を開始します。

ワンポイント
設定を変更するときは、[<戻る]を押してもう一度設定しなおしてください。

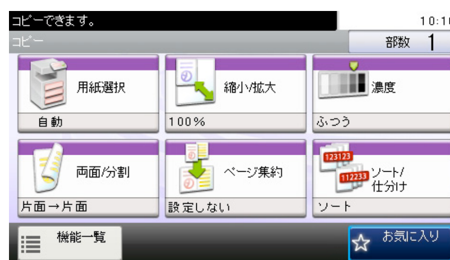
プログラム形式で呼び出す

1



カスタマイズした機能を選択します。

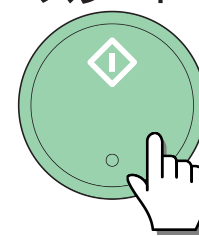
2



登録している設定を呼び出します。

3

スタート

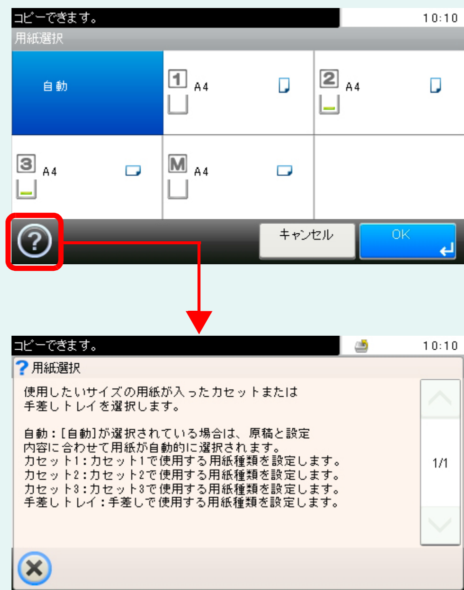


スタートキーを押すと、ジョブを開始します。

ヘルプ画面の使いかた

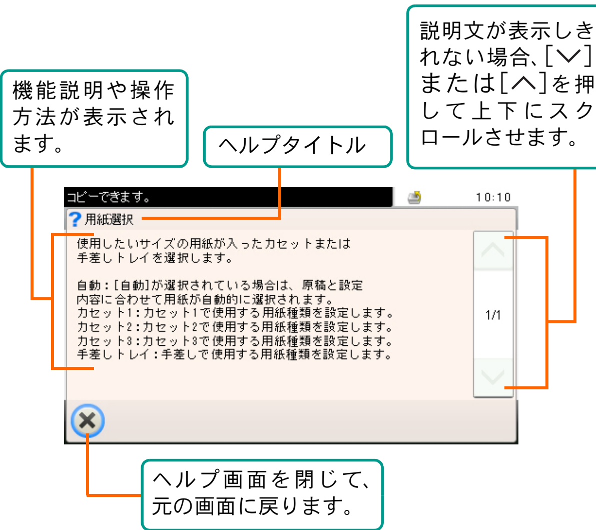
操作に困ったときは、タッチパネルで使いかたを確認できます。

ヘルプ画面について



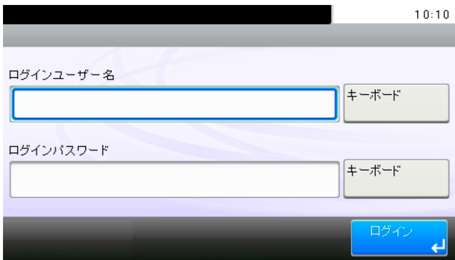
タッチパネルに [ヘルプ]が表示されている場合、 [ヘルプ]を押すとヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面では機能説明や操作方法をご確認いただくことができます。

ヘルプ画面の説明



ログイン画面が表示されたときは

ユーザー名とパスワードを入力してください。



ログイン画面は、次の場合に表示されます。

・管理者権限が必要な設定を変更する場合

・ユーザー管理を使用している場合

工場出荷時のユーザー名およびパスワードについて

新しいユーザーを登録します。ユーザーは100人まで登録できます（ログインユーザー名の初期値を含む）。
登録する項目は次のとおりです。

登録項目	機器管理者	管理者
ユーザー名	DeviceAdmin	Admin
ユーザー名（フリガナ）	DeviceAdmin	Admin
ログインユーザー名	25枚機:2500 30枚機:3000	Admin
ログインパスワード	25枚機:2500 30枚機:3000	Admin
アクセスレベル	機器管理者	管理者

ユーザー名、ログインユーザー名、ログインパスワードは、セキュリティー保護のため定期的に変更することをおすすめします

▶使用説明書 9 章「設定・登録・ユーザー管理を行う」の「ユーザー管理を行う」参照

付属のソフトウェアについて

ここでは、本機に付属のCD-ROM（Product Library）からソフトウェアをインストールする方法を説明します。

インストールする環境やOS のバージョンによって使用できるソフトウェアは異なります。

各ソフトウェア（ドライバー/ ユーティリティー）の詳細なインストール方法および使用方法は、CD-ROM に収録されている使用説明書または操作手順書を参照してください。

収録ソフト（Windows）

インストール方法は、高速モードとカスタムモードの2 種類から選ぶことができます。選択した方法によって、インストールできるソフトウェアの種類や、プリンターポートの選択方法が異なります。

ソフトウェア	機　能	説　明	インストール方法	
			高速モード	カスタムモード
KX ドライバー	印刷	パソコン上のデータを本機で印刷するためのドライバーです。1つのドライバーで、複数のページ記述言（PCL XL、KPDLなど）をサポートします。本機の持つ機能を最大限に活かしてご利用いただけるプリンタードライバーです。	●	●
KX（XPS）プリンタードライバー		マイクロソフト社が開発したXPS（XML Paper Specification）フォーマットに対応したプリンタードライバーです。	-	○
Mini プリンタードライバー		Microsoft Mini Driver 形式のドライバーで、XPS、PCL、KPDL それぞれをエミュレーションして出力します。本機の持つ機能やオプション類の機能のうち、本ドライバーでは使用できる機能に制限があります。	-	○
Kyocera TWAIN ドライバー	スキャン	TWAIN 対応アプリケーションソフトを使用して本機でスキャンするためのドライバーです。	●	●
WIA ドライバー		WIA（Windows Imaging Acquisition）は、スキャナーなどのイメージングデバイスと画像処理アプリケーションソフトの相互通信を可能にするWindows の機能です。OS に標準でインストールされているペイントなど、WIA 対応アプリケーションソフトを使って画像を取り込むことができ、TWAIN 対応アプリケーションソフトがパソコンにインストールされていない場合などに便利です。	-	○
Network FAX ドライバー	ネットワークFAX	パソコン上のアプリケーションソフトで作成した文書を、本機を経由してファクス送信することができます。	-	○
KM-NET for Direct Printing	ユーティリティー	Adobe Acrobat/Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。	-	○
KMnet Viewer		ネットワーク上の本機をモニターすることのできるユーティリティーです。	-	○
フォント	-	本機の内蔵フォントをアプリケーションソフトで使用するための表示フォントです。	●	●

● 標準でインストールします。

○ 選択でインストールします。

ワンポイント

ソフトウェアや使用環境によっては使用できない場合があります。

京セラミタのホームページから、各種ソフトウェアをダウンロードすることができます。
（http://www.kyoceramita.co.jp/support/prod_inf/manual.html）

Windowsにプリンタードライバーをインストールする

ソフトウェアのインストール手順を説明します。(画面はWindows 7です。)

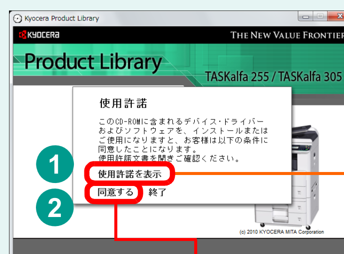
1 インストール画面を表示する



ワンポイント

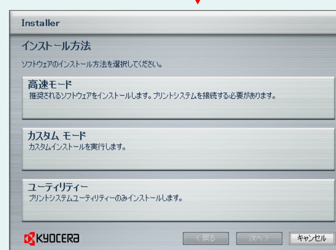
- ソフトウェアをインストールするときは、管理者権限でログオンする必要があります。
  管理者権限については、ネットワーク管理者に確認してください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、**[キャンセル]**をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、**[setup.exeを実行]**をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、**[はい]**(**[許可]**)をクリックしてください。

2 インストール方法選択画面を表示する



[**使用許諾を表示**]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。





インストール方法選択画面が表示されます。

3 高速モードでインストールする

1 2 3 本機のモデル名を選択します。

「ポート名にホスト名を使用」にチェックを入れます。

4 5 ネットワーク接続の場合は、プリンターの設定を行ないます。

6 インストールを開始します。

7

ワンポイント

- 本機の電源が入っていないとパソコンで本機が検出されません。
  本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSB ケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、[更新]をクリックしてください。
- Windows セキュリティー画面が表示された場合、[このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックしてください。

4 インストールの終了

1 [終了]をクリックします。

[テストページの印刷]
テストページを出力します。

[簡単設定タブを表示する]
印刷設定に簡単設定タブを表示します。
（27ページの簡単設定タブを参照）

[ステータスモニターを有効にする]
ステータスモニターを有効にします。
ステータスモニターについては、プリンタードライバー操作手順書を参照。

ワンポイント

[終了]をクリックした後、デバイス設定のダイアログが表示された場合、本機に装着されているオプションなどの設定を行うことができます。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。詳しくはCD-ROM収録のプリンタードライバー操作手順書のデバイス設定を参照してください。

これで、ソフトウェアのインストール手順は終了です。画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。

カスタムモードでインストールする場合

インストールするドライバーとユーティリティーを選択することができます。

付属のソフトウェアについて▶13ページ

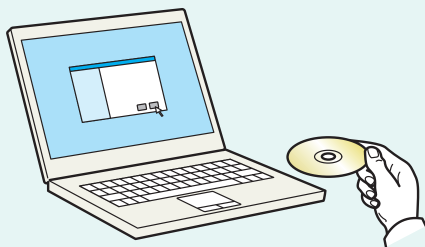
ワンポイント

カスタムモードでのインストールについては、CD-ROM収録のプリンタードライバー操作手順書を参照してください。

WindowsにNetwork FAXドライバーをインストールする

Network FAXドライバーのインストール手順を説明します。(画面はWindows 7です。)

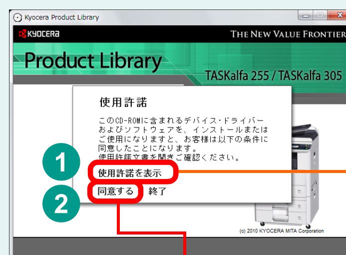
1 インストール画面を表示する



ワンポイント

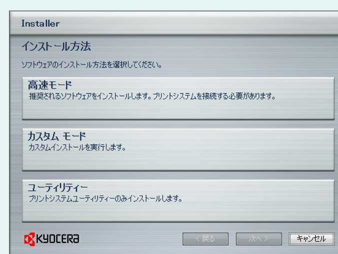
- ソフトウェアをインストールするときは、管理者権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、**[キャンセル]**をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exe**を実行**]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、**[はい]**(**[許可]**)をクリックしてください。

2 インストール方法選択画面を表示する



[使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。





インストール方法選択画面が表示されます。

3 カスタムモードでインストールする

1 (カスタム モードを選択)

3 本機のモデル名を選択します。

2 「ポート名にホスト名を使用」にチェックを入れます。

4

6 KX DRIVER のチェックボックスのチェックを外します。

5 FAX Driver のチェックボックスにチェックを入れます。

7

8 本体に名前を付けることができます。この名前はWindowsの[デバイスとプリンタ]、およびアプリケーションのプリンターリストに表示されます。

9

10 インストールを開始します。

ソフトウェアのアンインストール方法

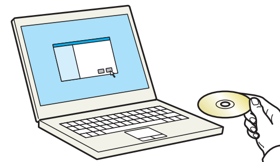
インストールしたソフトウェアをアンインストールする場合は、以下の手順を行ってください。

ワンポイント

プログラムメニューからもアンインストールすることができます。
[スタート] → [すべてのプログラム] → [Kyocera] → [プロダクトライブラリーのアンインストール] を順にクリックしてアンインストールプログラムを起動し、ソフトウェアのアンインストールを行ってください。

KMnet Viewer や、KM-NET for Direct Printing をインストールしているときは、個別のアンインストーラーが別途起動しますので、画面の指示に従い、それぞれのアンストール作業を行ってください。

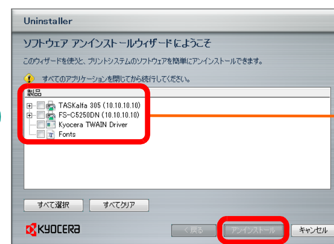
1



2 ソフトウェアのインストールと同じ手順で進み、[**ソフトウェアの削除**]をクリックします。



3 削除したいソフトウェアを選択します。



4 [**アンインストール**]をクリックするとソフトウェアの削除を開始します。

Macintoshへのインストール

Macintoshでは、本機のプリンター機能が使用できます。次の手順でプリンタードライバーをインストールしてプリンターを追加してください。(Mac OS X 10.6を例に説明します。)

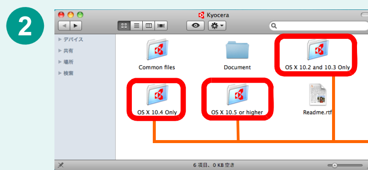
1 インストール画面を表示する

1



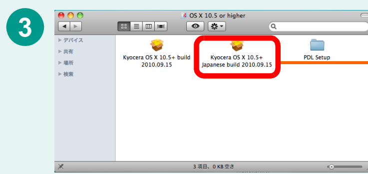
CD-ROM を挿入し、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。

2



使用しているOSのバージョンのフォルダーをダブルクリックしてください。

3



[Kyocera OS X xxxxx] をダブルクリックしてください。プリンタードライバーのインストールプログラムが起動します。

> ワンポイント
> Macintoshで印刷する場合は、本機のエミュレーションの設定で「KPDL」または「KPDL(自動)」を選択してください。設定方法については使用説明書9章「設定・登録・ユーザー管理を行う」の「プリンター」を参照してください。
> Bonjourで接続する場合は、本機のネットワーク設定でBonjourを有効にしてください。
> 設定方法については使用説明書 9 章「設定・登録・ユーザー管理を行う」の「システム」を参照してください。

2 プリンタードライバーをインストールする



1

インストールプログラムの表示に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。

> ワンポイント
> ソフトウェアをインストールするときは、管理者権限でログオンする必要があります。
> 管理者権限については、ネットワーク管理者に確認してください。

以上でプリンタードライバーのインストールは完了です。

USB接続の場合は、自動的に本機の認識と接続が行われます。

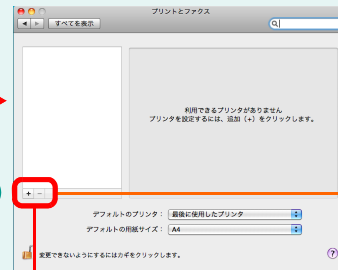
ネットワーク接続の場合は、続けてプリンターの設定を行ってください。

3 プリンターを設定する（ネットワーク接続時）

1 システム環境設定画面を表示します。



2 プリントとファクスをクリックします。



3 プリンターを追加するため、[＋]をクリックします。



4

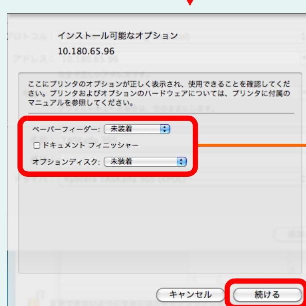
5 IP アドレスとプリンター名を入力します

「**名前**」には、「**IP アドレス**」に入力した番号が自動的に入ります。必要に応じて変更してください。

6 本機と同じ名称のプリンタードライバーが選択されていることを確認します

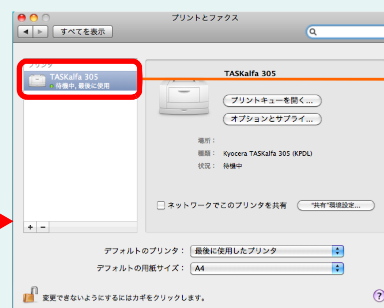
IPアドレスを入力すると、本機を検出して適切なプリンタードライバーが自動的に選択されます。

7



8 本機に装備されているオプションを選択します。

9



設定したプリンターが追加され、印刷設定作業は終了です。

Bonjour接続で使用する場合は、(4)で[**デフォルト**] を選択し、「**名前**」に表示された項目をクリックしてください。「**ドライバ**」に本機と同じ名称のドライバーが自動的に表示されます。

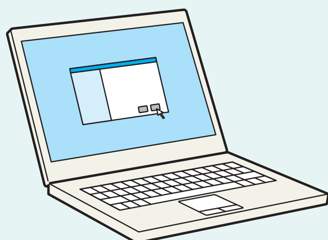
Mac OS X v10.6 は、AppleTalk に対応していません。

COMMAND CENTERを使ってパソコンから設定する

京セラCOMMAND CENTER（以下、COMMAND CENTER）は、プリントシステムの設定や管理を行うツールです。本機の状態や設定内容の確認、ネットワークやセキュリティーの設定変更などができます。また、アドレス帳の登録名などを漢字入力することができます。

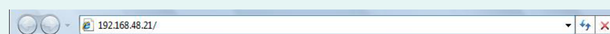
COMMAND CENTERは、本機をネットワークに接続してご使用の場合に、同一ネットワークに接続されたパソコンからアクセスできます。

1 インターネットエクスプローラーを起動する



Web ブラウザー（インターネットエクスプローラーなど）を起動してください。

2 本機のIPアドレスを入力する



アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスを入力してください。IPアドレスは、ステータスページで確認することができます。

例）192.168.48.21/

▶使用説明書 9 章「設定・登録・ユーザー管理を行う」の「レポート」参照

ワンポイント

本機の設定内容を変更する際には、管理者パスワードが必要になります。工場出荷時のデフォルトは下記が設定されています。

admin00

▶京セラCOMMAND CENTER 操作手順書参照

電源の入れかた/切りかた

本機には、主電源スイッチと[電源]キーの2つの電源スイッチがあります。電源の入/切は、正しい手順で行ってください。

電源の入れかた

電源表示が点灯している場合

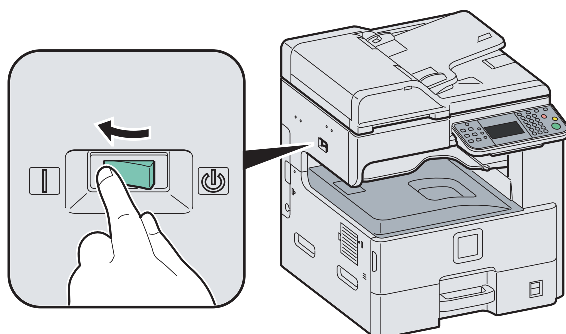
（スリープモードからの復帰）

操作パネルの[電源]キーを押してください。



電源表示が消灯している場合

主電源スイッチをオン(|)にします。



ワンポイント

電源を入れ直すときは、5 秒以上あけてください。

電源の切りかた

主電源スイッチを切らない場合

（スリープモード）

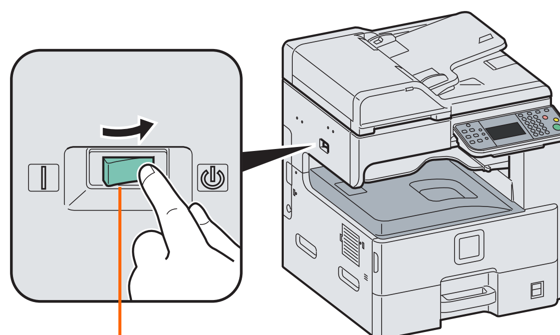
操作パネルの[電源]キーを押してください。[電源]キーが消灯し、電源表示が点灯した状態になります。



主電源スイッチを切る場合

主電源スイッチを切ると、パソコンからの印刷や、ファクスの自動受信ができなくなりますのでご注意ください。





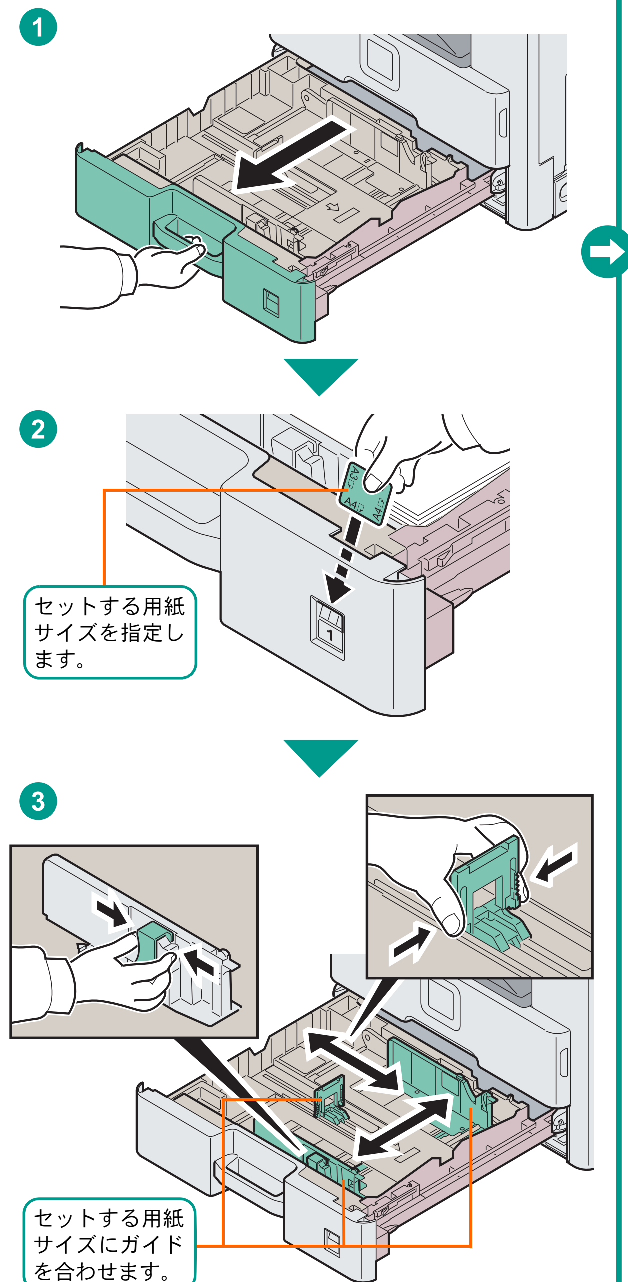
ワンポイント

処理中表示やメモリー表示が点灯しているときは、本機が動作しています。本機が動作しているときに主電源スイッチを切ると、故障する原因となる可能性があります。

用紙のセット

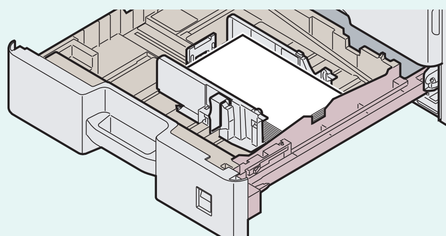
カセットに用紙をセットします

1 カセットのサイズを調整する

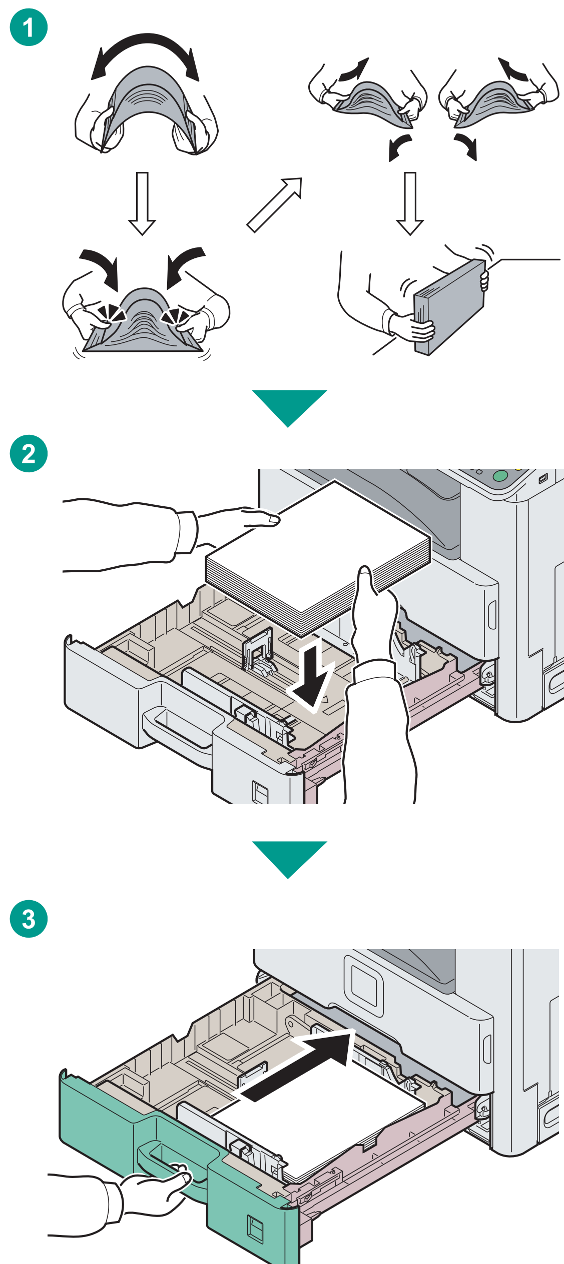


ワンポイント

A5サイズの用紙は必ず横向きにセットしてください。

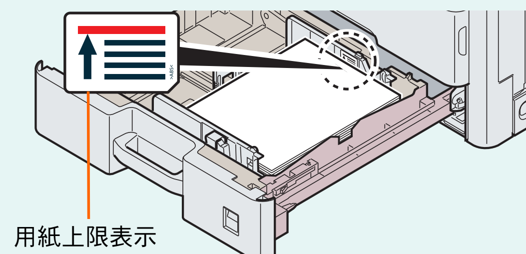


2 用紙をセットする



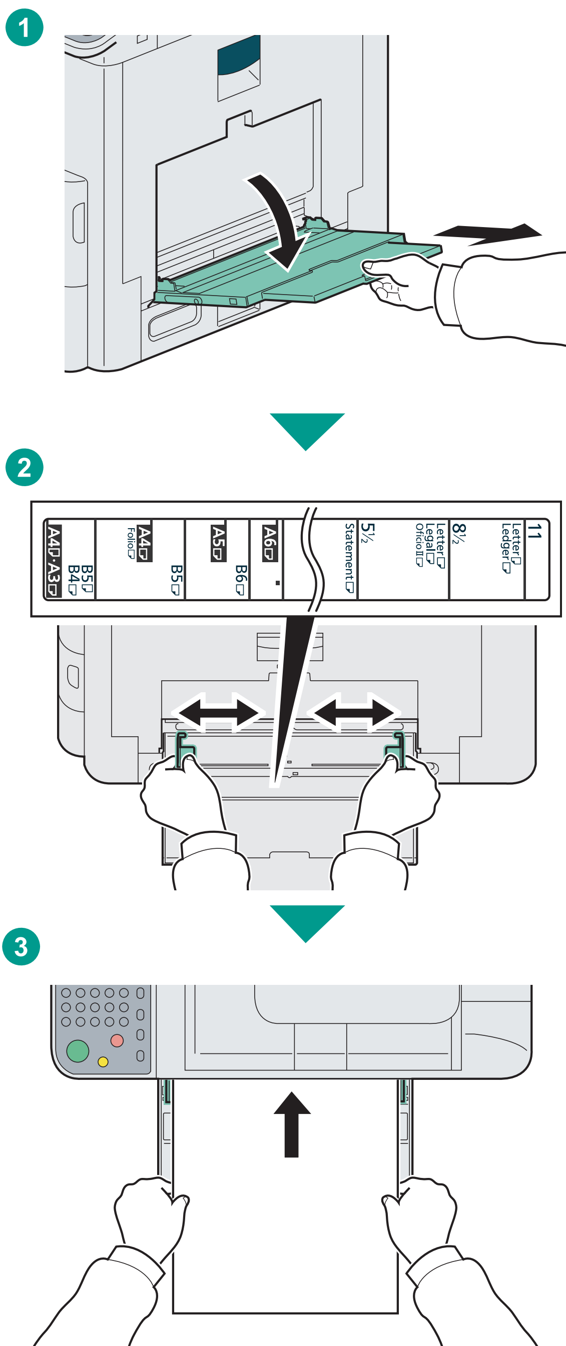
ワンポイント

用紙上限表示を超えないように用紙を入れてください。



手差しトレイに用紙をセットします

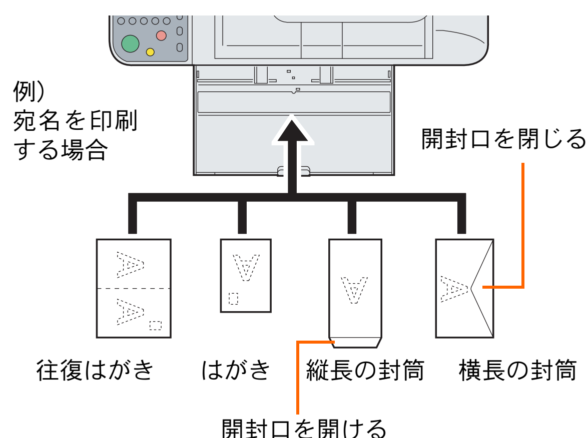
用紙をセットする



手差しトレイに用紙をセットするときは、用紙幅ガイドに合わせて、用紙を止まる位置まで挿入してください。

ワンポイント
- セットした用紙にあわせて、右側の「簡単用紙設定」で用紙サイズと用紙種類を設定してください。

封筒･はがきをセットするとき



印刷面を下にしてセットしてください。

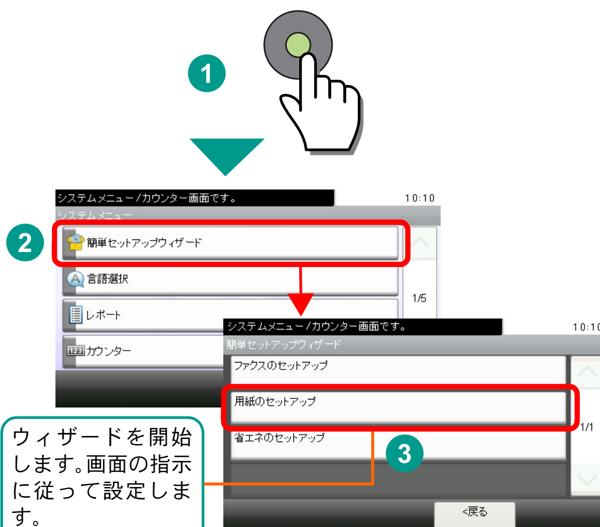
封筒は、5枚ずつセットしてください。
はがきは、一度に20枚までセットできます。

ワンポイント
- 往復はがきは折られていないものをセットしてください。
- 封筒の補給のしかた（向き、裏表）は、封筒の種類によって異なります。正しく補給しないと、異なった方向、異なった面に印刷されます。
- 手差しトレイの使用方法の詳細については、使用説明書 3 章「共通の操作」の「手差しトレイにセットする（用紙のセット）」を参照してください。

簡単用紙設定

ウィザード形式で、簡単に用紙の設定ができます。

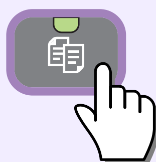
システムメニュー / カウンター



ウィザードを開始します。画面の指示に従って設定します。

コピーする

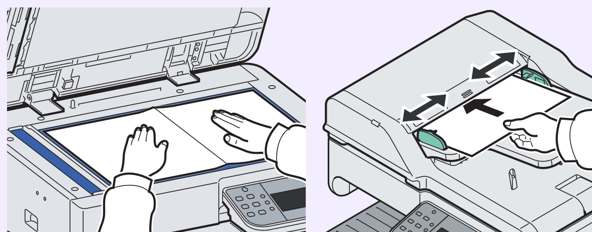
1 コピーキーを押す



ワンポイント
タッチパネルが消えているときは、節電キーまたは電源キーを押してウォームアップさせてください。

2 原稿をセットする

■原稿ガラスにセットする ■原稿送り装置にセットする



原稿のセットのしかた▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「原稿のセット」参照

ワンポイント
縮小／拡大や濃度調整など、読み込みのしかたをタッチパネルで設定します。
免許証など小さい原稿をセットする場合は、用紙サイズでA4またはB5を選択します。

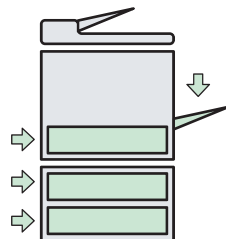
コピーでよく使う機能

コピーでよく使う機能を紹介します。各機能については、使用説明書に詳しい説明があります。

コピーする用紙を選択する

用紙選択

使用したいサイズの用紙が入ったカセットを選択します。

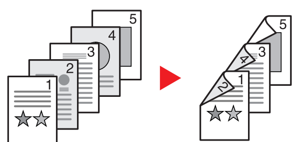



▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「用紙選択」参照

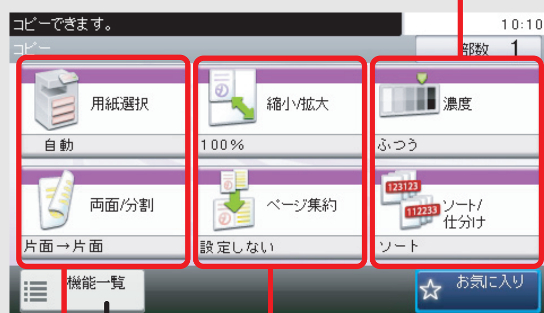
用紙の両面にコピーする

両面/分割

用紙の両面にコピーできます。
また、分割は、両面原稿や本などの見開き原稿を、1 ページずつ片面コピーします。




▶使用説明書 4 章「コピーする」の「両面/分割」参照

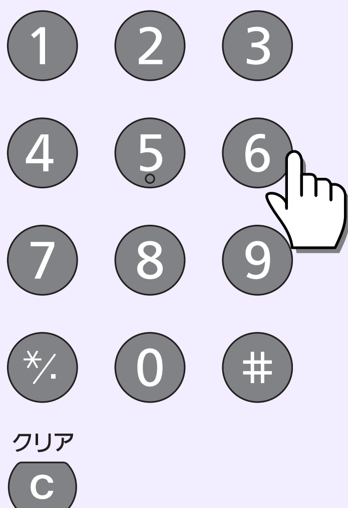


機能一覧

機能一覧で設定できる機能

- 原稿サイズ
- 原稿セット向き
- 原稿サイズ混載
- 排紙先
- ステープル
- 原稿の画質
- エコプリント
- シャープネス
- 地色調整
- うら写り防止
- とじしろ
- 連続読み込み
- 自動画像回転
- ジョブ終了通知
- 文書名入力
- 優先印刷

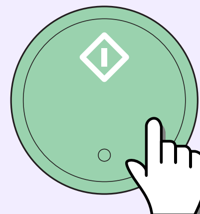
3 部数を入力する





ワンポイント
部数を変更するときは、クリアキーを押して入力しなおします。

4 スタートキーを押す



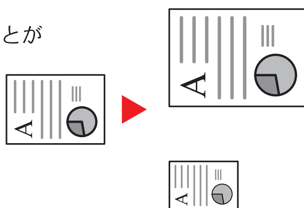
印刷が開始されます。

ジョブをキャンセルする

1. ストップキーを押します。

コピーを縮小/拡大する

縮小/拡大
縮小/拡大してコピーすることができます。




▶使用説明書４章「コピーする」の「縮小/拡大」参照

コピー濃度を調整する

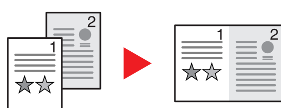
濃度調整
濃度を手動で調整できます。




▶使用説明書３章「共通の操作」の「濃度」参照

複数ページを1枚にコピーする

ページ集約
2枚の原稿を1枚の用紙に集約する2in1、4枚の原稿を1枚の用紙に集約する4in1でコピーすることができます。
また、原稿の境目の位置に境界線を入れることもできます。




▶使用説明書４章「コピーする」の「ページ集約」参照

コピーを仕分けする

ソート/仕分け
ソートを使用すると、複数枚の原稿から、ページ順に並んだコピーを必要部数作成できます。仕分けを使用すると、用紙が1部ごと（またはページごと）に90°回転して排紙されます。




▶使用説明書３章「共通の操作」の「ソート/仕分け」参照

印刷のしかた

ここでは基本的な印刷のしかたを説明しています。操作方法はWindows 7 で説明しています。

付属のCD-ROM（Product Library）からプリンタードライバーをインストールすると、パソコンで作成した文書を本機で印刷することができます。

プリンタードライバーのインストール方法は、付属のソフトウェアについてを参照してください。

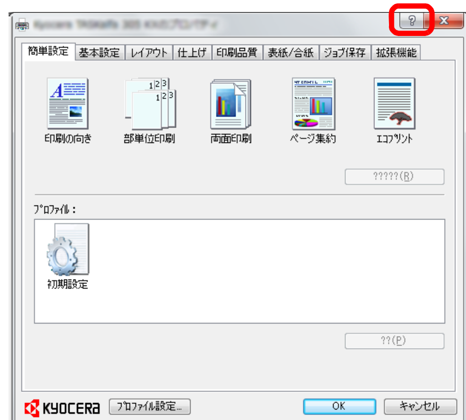
付属のソフトウェアについて▶13ページ

プリンタードライバーの詳細な設定方法や印刷方法については、CD-ROM に収録されているプリンタードライバー操作手順書を参照してください。

▶プリンタードライバー操作手順書

プリンタードライバーのヘルプの見かた

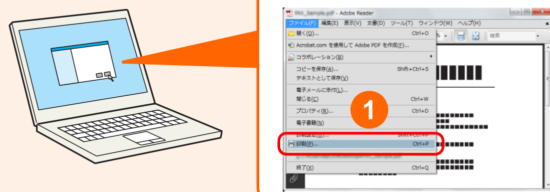
プリンタードライバーにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、次の方法でヘルプを表示することができます。



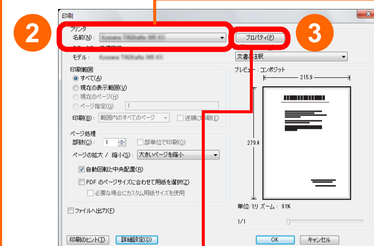
・設定画面右上の[?]ボタンをクリックし、続けて知りたい設定項目をクリックします。

・知りたい設定項目をクリックした後キーボードの[F1] キーを押します。

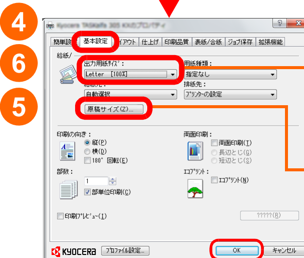
1 パソコンから印刷する



アプリケーションソフトから印刷を行ないます。

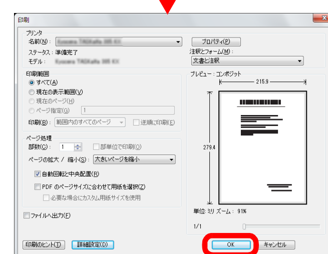


プリンターを選択します。



印刷する用紙のサイズを選択します。

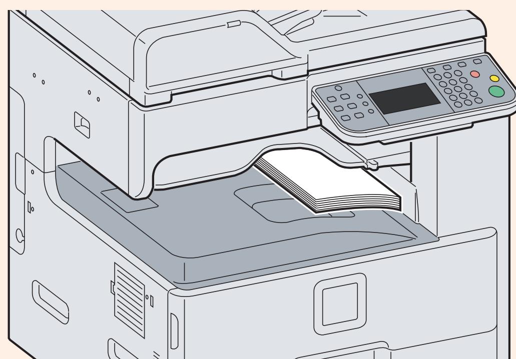
文書データの用紙サイズを選択します。



ワンポイント

印刷の設定は、印刷設定画面のそれぞれのタブをクリックして必要な設定を行ってください。詳しくは、プリンタードライバー操作手順書を参照してください。

2 印刷する

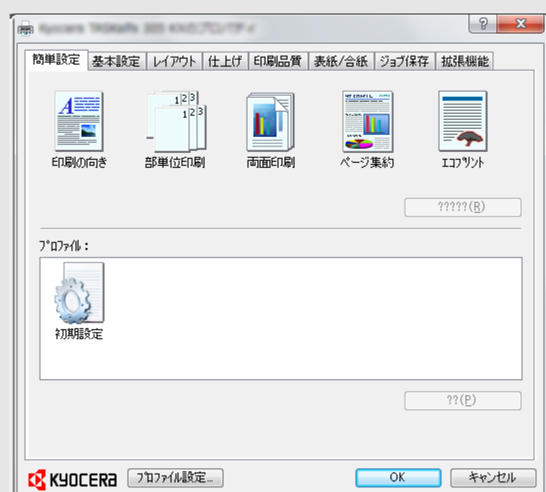


印刷が開始されます。

簡単設定タブ

[簡単設定]タブでは、よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。クリックするごとに印刷結果と同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。

詳しくは、プリンタードライバー操作手順書を参照してください。



印刷を中止するときは

印刷を中止するときは、下記の対処方法があります。

パソコンで印刷を中止する

プリンタードライバーで印刷を実行した後、本機で印刷が始まる前に中止したいときは、次の操作を行ってください。

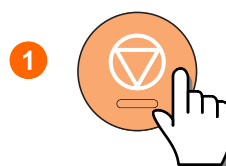
1. Windows 画面右下のタスクバーに表示されるプリンターアイコン( )をダブルクリックしてダイアログボックスを表示してください。
2. 印刷を中止したいファイルをクリックし、[ドキュメント]メニューから[キャンセル]を選択してください。

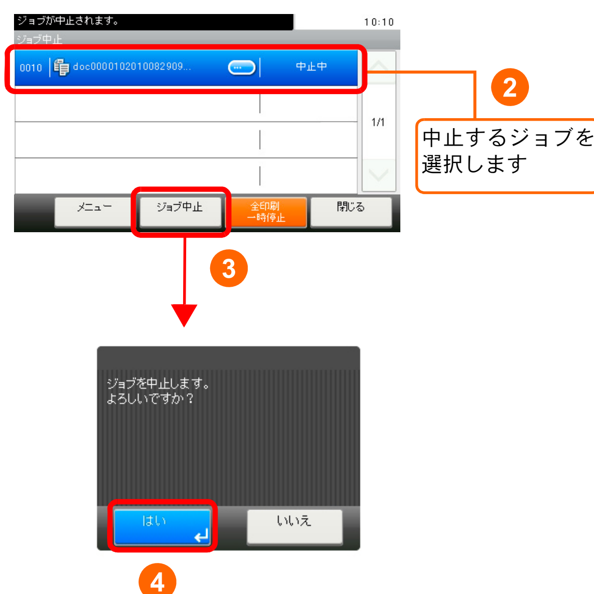
本機での印刷を中止する

本機で印刷が始まっている場合は、操作パネルのストップキーを押して中止操作を行います。

ストップ

1

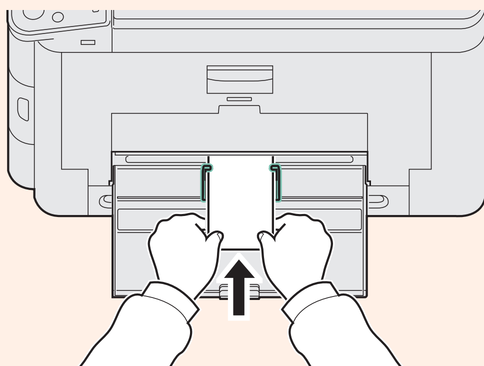




はがきや封筒に印刷する

はがきや封筒に印刷するときは、手差しトレイを使って印刷します。

1 手差しトレイにはがきや封筒をセットする

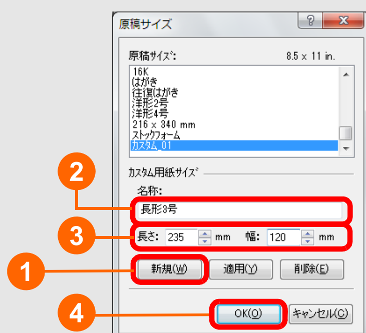


手差しトレイへのはがきや封筒のセット方法は、手差しトレイに用紙をセットするを参照してください。

手差しトレイに用紙をセットする▶23ページ

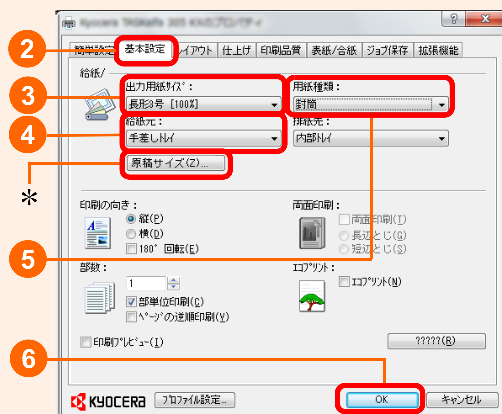
＊原稿サイズの登録について

不定形の用紙や、リストにないサイズの封筒を使用したいときは、[**基本設定**]タブにある[**原稿サイズ**]ボタンをクリックして用紙サイズを登録します。
登録したサイズは、[**出力用紙サイズ**]メニューから選択できるようになります。



1. [**新規**]ボタンをクリックしてください。
2. 用紙の名前を入力してください。
3. 用紙サイズを入力してください。
   例1) 長形3号：長さ235 mm、幅120 mm
   例2) 長形4号：長さ205 mm、幅90 mm
4. [OK]ボタンをクリックしてください。

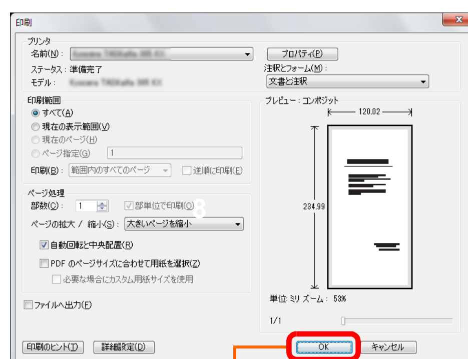
2 印刷設定を行う



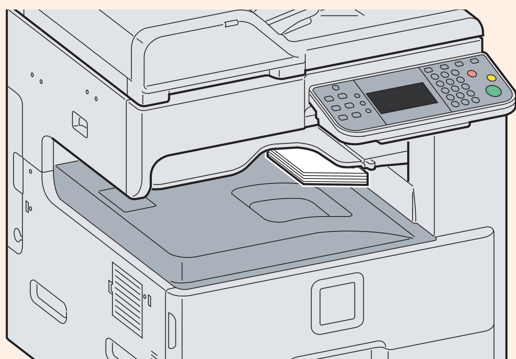
1. 印刷設定画面を表示してください。

印刷のしかた▶26ページ

2. [**基本設定**]タブをクリックしてください。
3. 用紙サイズを選択してください。
   ＊選択したいサイズがリストにない場合は、[**原稿サイズ**]ボタンをクリックして登録してください。
4. [**手差しトレイ**]を選択してください。
5. [**はがき**]または[**封筒**]を選択してください。
6. [OK]ボタンをクリックしてください。
7. [OK]ボタンをクリックしてください。



3 印刷する



はがきまたは封筒の印刷が開始されます。

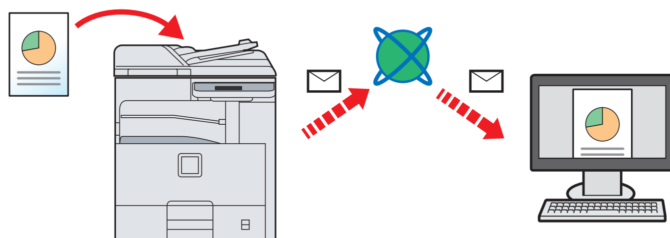
送信機能を使用するための準備

パソコンに送信する

送信機能には次の送信手段があります。これらを使用するためには、あらかじめネットワークに関する設定などが必要です。ネットワークへの接続および設定については、使用説明書 2 章「本機を使用する前に」を参照してください。

メールで送信する(メール送信)

読み込んだ文書をメールに添付して送信します。



本機がメールサーバーに接続できるネットワーク環境が必要です。

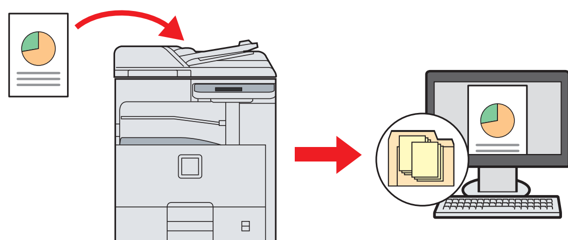
あらかじめ、COMMAND CENTER へアクセスし、メール送信に必要な設定を行ってください。

詳しくは使用説明書2章使用前の準備の「COMMAND CENTER について(メール設定)」を参照してください。

共有フォルダーやFTP サーバーに送信する(フォルダー送信)

フォルダー(SMB)送信は、読み取った原稿のイメージを、同一ネットワークのパソコンの共有フォルダーに送信する方法です。

フォルダー(FTP)送信は、読み取った原稿のイメージを、FTP サーバーに送信する方法です。



SMB 送信を行うには、あらかじめパソコン上に共有フォルダーを作成し、本機に送信先として登録する必要があります。共有フォルダーの作成方法および登録方法については、使用説明書 6 章「送信する」の「宛先の選び方(新規のPCフォルダーを指定して送信する)」を参照してください。

COMMAND CENTER でSMB プロトコルまたはFTP がオンになっていることを確認してください。詳しくは京セラCOMMAND CENTER 操作手順書を参照してください。

ワンポイント

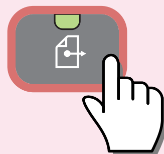
TWAIN ドライバー、WIA ドライバーを使用したスキャンについて

付属のCD-ROM に収録されているTWAIN ドライバーやWIA ドライバーを使用すると、ご使用のパソコンからの操作で本機にセットした原稿を読み込むことができます。
詳しくは、使用説明書 2 章「本機を使用する前に」の「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

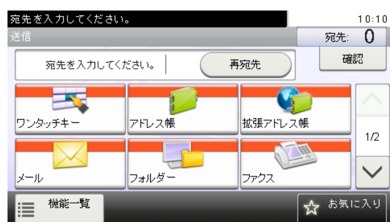
文書を送信する

本機で読み込んだ文書をメールで送信したり、ネットワーク上のパソコンに送信したりできます。
ここでは、基本的な送信方法について説明しています。

1 送信キーを押す



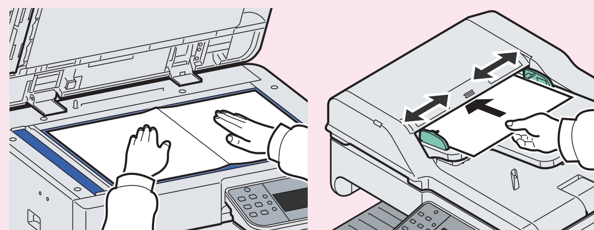
送信キーを押すと、送信画面が表示されます。



ワンポイント
タッチパネルが消えているときは、節電キーまたは　電源キーを押してウォームアップさせてください。

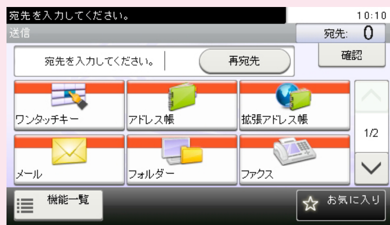
2 原稿をセットする

■原稿ガラスにセットする ■原稿送り装置にセットする



原稿のセットのしかた
▶使用説明書 3 章
「共通の操作」の「原稿のセット」参照

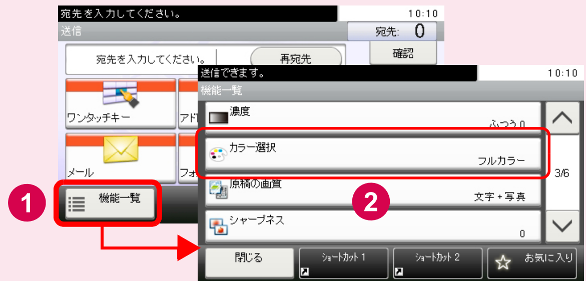
3 送信先を指定する



送信先を選択します。

送信先の指定方法 ▶ 34ページ
アドレス帳から選ぶ ▶ 34ページ
ワンタッチキーから選ぶ ▶ 34ページ
新規メールアドレスを入力して送信する ▶ 35ページ

4 カラーモードを選択する



カラーモードを選択します。

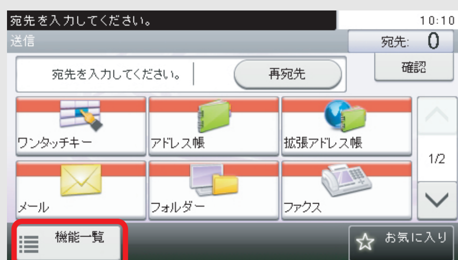


自動(カラー/グレー)、自動(カラー/白黒)、
フルカラー、グレースケール、白黒

カラーモードの詳細
▶使用説明書 3 章
「共通の操作」の「カラー選択」参照

送信でよく使う機能

送信でよく使う機能を紹介します。各機能については、使用説明書に詳しい説明があります。

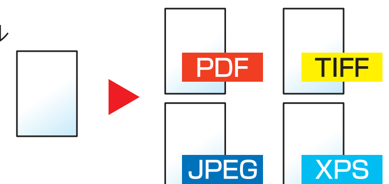


機能一覧を押すと、読み込み解像度やファイル形式などの設定を行なうことができます。



画像のファイル形式を設定する

ファイル形式
送信する文書のファイル形式を選択します。



▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「ファイル形式」参照

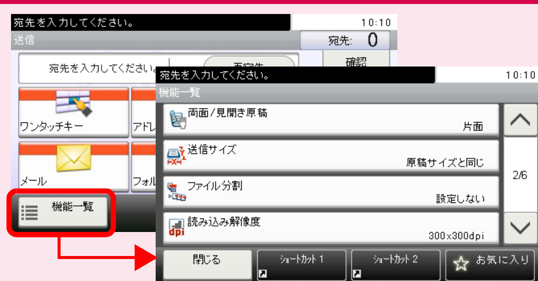
両面原稿を読み込む

両面/見開き原稿
原稿の種類（片面/両面）を設定します。



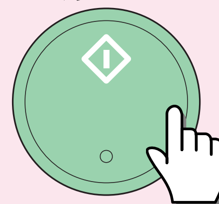
▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「両面/見開き原稿」参照

5 機能を設定する



ファイル形式や解像度など読み込みのしかたを設定します。送信機能については、使用説明書 6 章「送信する」を参照してください。

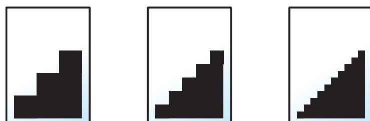
6 スタートキーを押す



読み込んだ原稿が、指定した宛先に送信されます。

解像度を設定する

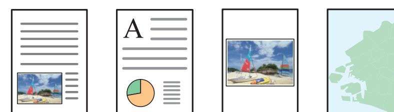
読み込み解像度
読み込む解像度を設定します。




▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「読み込み解像度」参照

原稿の画質に合わせて画像を処理する

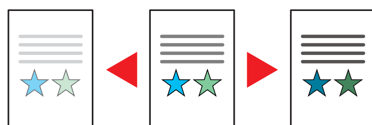
原稿の画質
原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。




▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「原稿の画質」参照

読み込み濃度を調整する

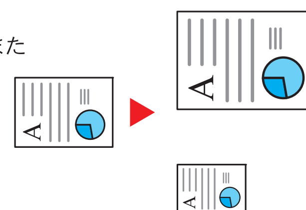
濃度
読み込む濃度を調整します。




▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「濃度」参照

送信サイズを縮小/拡大する

縮小/拡大
送信サイズに合わせて縮小または拡大して読み込みます。




▶使用説明書 6 章「送信する」の「送信サイズ」参照

宛先の指定方法

ここでは、アドレス帳、ワンタッチキー(短縮番号)を使って宛先を指定する方法と、新規メールアドレスを入力する方法を説明します。

アドレス帳を使う

1

送信する宛先のチェックボックスにチェックマークを付けます。 3

2 [∨]または[∧]を押して送信先を表示します。

4 [OK]を押すと、選択した宛先を決定します。

登録したアドレス帳から送信先を選択します。

ワンポイント
拡張アドレス帳に登録している宛先を選択する場合は、**[拡張アドレス帳]**を押してください。

アドレス帳の登録・削除方法については、使用説明書 6 章「送信する」の「アドレス帳の登録」を参照してください。

ワンポイント
アドレス帳に登録された送り先は検索することができます。アドレス帳の画面で[メニュー]キーを押し、**[検索(ふりがな)]**または**[番号検索]**を選択してください。

ワンタッチキー(短縮番号)を使う

1

[∨]または[∧]を押して送信先を表示します。 2

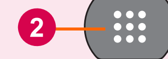
ワンタッチキーを選択

3 送信する宛先のワンタッチキーを押して選択します。

4 [OK]を押すと、選択した宛先を決定します。

短縮番号で検索

短縮

2 

[短縮]キーを押します。

3 [－]、[＋]またはテンキーを押し、短縮番号(ワンタッチキー番号)を入力します。

4 [OK]を押すと、入力した番号の送信先が選択されます。

5 [OK]を押すと、選択した宛先を決定します。

登録したワンタッチキーから送信先を選択します。ワンタッチキーは、アドレス帳に登録されている送信先を割り当てて使用します。ワンタッチキーの登録・削除方法については、使用説明書6 章「送信する」の「ワンタッチキーの登録」を参照してください。

新規メールアドレスを入力する

1

2

宛先のメールアドレスを入力します。

3

[OK]を押すと、入力したメールアドレスを決定します。

アドレス帳に登録していない宛先にメール送信するときは、アドレスを直接入力してください。(フォルダー送信の宛先を直接入力する方法については使用説明書6章「送信する」を参照してください。)

ワンポイント

文字入力のしかたは、使用説明書11章「付録」の「文字の入力方法」を参照してください。

ファクスする

基本的なファクスの送信方法を説明します。

1 ファクスキーを押す



ファクスキーを押すと、ファクス画面が表示されます。

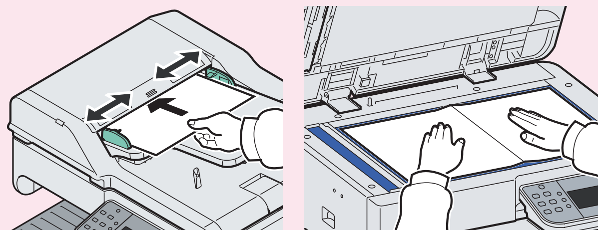


ワンポイント

タッチパネルが消えているときは、節電キーまたは電源キーを押してウォームアップさせてください。

2 原稿をセットする

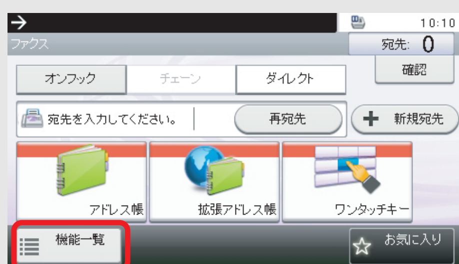
■原稿送り装置にセットする ■原稿ガラスにセットする



原稿のセットのしかた
▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「原稿のセット」参照

ファクスでよく使う機能

ファクスでよく使う機能を紹介します。
各機能については、使用説明書に詳しい説明があります。



機能一覧を押すと、読み込み解像度やタイマー送信などの送信設定を行なうことができます。



両面原稿を読み込む

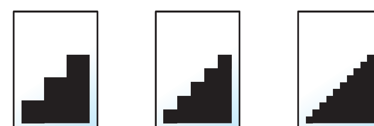
両面/見開き原稿
原稿の種類（片面/両面）を設定します。



▶ファクスの使用説明書 4 章「ファクスを送信する」の「両面/見開き原稿」参照

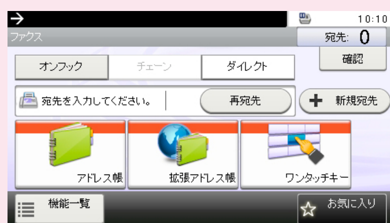
解像度を設定する

ファクス送信解像度
ファクス送信の解像度を設定します。



▶ファクスの使用説明書 4 章「ファクスを送信する」の「ファクス解像度の選択」参照

3 宛先を指定する



宛先を選択します。

宛先の指定方法 ▶ 40ページ
ファクス番号の入力 ▶ 40ページ
アドレス帳を使う ▶ 40ページ
ワンタッチキー（短縮番号）を使う ▶ 41ページ

4 機能を設定する



原稿サイズや解像度など読み込みのしかたを設定します。ファクス送信機能については、ファクス使用説明書 4 章「ファクスを送信する」を参照してください。

ワンポイント

ファクスの送信には、**「メモリー送信」**と**「ダイレクト送信」**の2つの方法があります。ここでは一般的なメモリー送信で送信する手順を説明しています。詳しくは、ファクス使用説明書を参照してください。

読み込み濃度を調整する

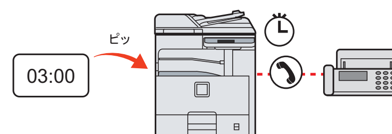
濃度
読み込む濃度を調整します。



▶ファクスの使用説明書 4 章「ファクスを送信する」の「読み込み濃度」参照

時刻を指定して送信する

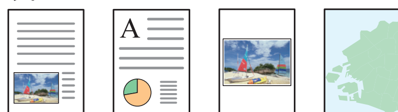
タイマー送信
送信開始の時刻をセットしておくと、その時刻に自動的に送信します。



▶ファクスの使用説明書 4 章「ファクスを送信する」の「タイマー送信」参照

原稿の画質に合わせて画像を処理する

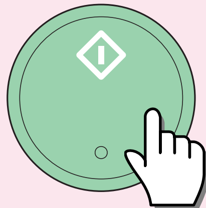
原稿の画質
原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。



▶ファクスの使用説明書 4 章「ファクスを送信する」の「画質の選択」参照

5 スタートキーを押す

スタート



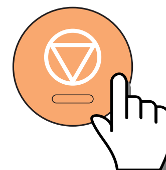
読み込んだ原稿が、指定した宛先に送信されます。

メモリー送信の中止方法

原稿読み込み時

メモリー送信で、原稿の読み込みを中止するには、操作パネルのストップキーを押してください。原稿の読み込みを中止し、原稿を排出します。

ストップ

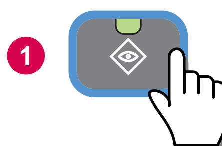


通信中の場合

通信中の回線を切って、送信を中止するときは、次の手順を行なってください。

状況確認/
ジョブ中止

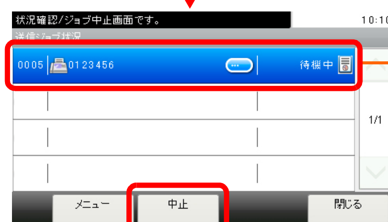
1





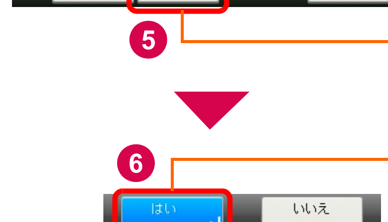
2 [∨]または[∧]を押して[送信ジョブ状況]を表示します。

3 [送信ジョブ状況]を選択します。



4 送信を中止するジョブを選択します。

5 [中止]を押します。





6 [はい]を押すと、送信を中止します。

タイマー送信の中止と即時送信

タイマー送信で待機中のジョブを中止するには、次の手順で行ってください。また、指定時刻を待たずに今すぐ送信することもできます。

状況確認/ジョブ中止

1

[∨]または[∧]を押して[予約ジョブ]を表示します。

2

3

[予約ジョブ]を選択します。

中止するジョブを選択します。

4

送信を中止する場合は、[中止]を押します。

5

6

[はい]を押すと、送信を中止します。

即時送信する場合

3

中止するジョブを選択します。

[メニュー]を押します。

4

5

[今すぐ開始]を押します。

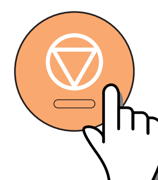
6

[はい]を押すと、即時送信されます。

ダイレクト送信の中止

ダイレクト送信で、送信中（原稿読み込み中）に中止するときは、操作パネルのストップキーを押してください。読み込み中の原稿を排出し、送信の初期画面に戻ります。

ストップ



ワンポイント

ストップキーを押すと回線が切断されます。ファクスを送り直すときは再度送信操作を行ってください。

宛先の指定方法

ここでは、番号を入力する方法とアドレス帳、ワンタッチキー（短縮番号）を使って宛先を指定する方法を説明します。

ファクス番号の入力

1

2 テンキーでファクス番号を入力します。

3 [OK]を押すと、入力したファクス番号が決定します。

[新規宛先]を押して、ファクス番号の入力画面を表示し、テンキーでファクス番号を入力します。

ワンポイント

テンキーで番号を押すとファクス番号の入力画面に替わります。

[ポーズ]を押すとダイヤル時に約3秒の待ち時間が挿入されます。たとえば、0発信（構内交換機を使用して内線から外線への発信）するときや、情報サービスを受けるときなどのダイヤル待ち時間の挿入に使用します。

アドレス帳を使う

1

2 [∨]または[∧]を押して送信先を表示します。

3 送信する宛先のチェックボックスにチェックマークを付けます。

4 [OK]を押すと、選択した宛先を決定します。

登録したアドレス帳から送信先を選択します。

ワンポイント

拡張アドレス帳に登録している宛先を選択する場合は、**[拡張アドレス帳]**を押してください。

アドレス帳の登録・削除方法については、ファクス使用説明書 2 章「宛先を登録する」の「ワンタッチキーへの登録」を参照してください。

ワンポイント

アドレス帳に登録された送り先は検索することができます。アドレス帳の画面で[メニュー]キーを押し、**[検索(名前)]**、**[検索(ふりがな)]**または**[番号検索]**を選択してください。

ワンタッチキー（短縮番号）を使う

ワンタッチキーを選択

1

［∨］または［∧］を押して送信先を表示します。

2

3 送信する宛先のワンタッチキーを押して選択します。

4 ［OK］を押すと、選択した宛先を決定します。

短縮番号で検索

短縮

2 ［短縮］キーを押します。

3 ［－］、［＋］またはテンキーを押し、短縮番号（ワンタッチキー番号）を入力します。

4 ［OK］を押すと、選択した宛先を決定します。

登録したワンタッチキーから送信先を選択します。ワンタッチキーは、アドレス帳に登録されている送信先を割り当てて使用します。ワンタッチキーの登録・削除方法については、ファクス使用説明書 2 章「宛先を登録する」の「ワンタッチキーの登録」を参照してください。

アドレス帳のリストの印刷

登録しているアドレス帳のリストを印刷することができます。

◈ システムメニュー / カウンター

1

2 ［∨］または［∧］を押して［アドレス帳/ワンタッチ］を表示します。

3 ［アドレス帳 / ワンタッチ］を選択します。

4 ［リスト印刷］を選択します。

5 ［ファクスリスト（見出し）］または［ファクスリスト（番号）］を選択します。

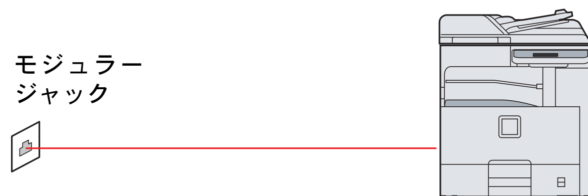
6 ［はい］を押すと、リストの印刷が行われます。

ファクス機能を使用するための接続

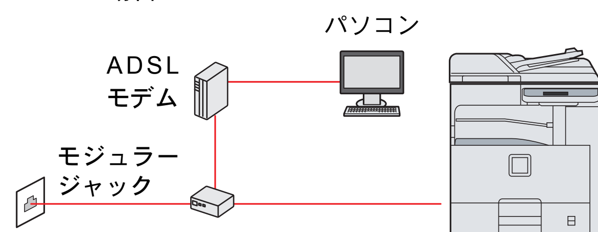
本機のファクス機能を使用する場合は、ご使用の回線種類を確かめ、次の手順でモジュラーコードを接続してください。

一般的なファクス接続例

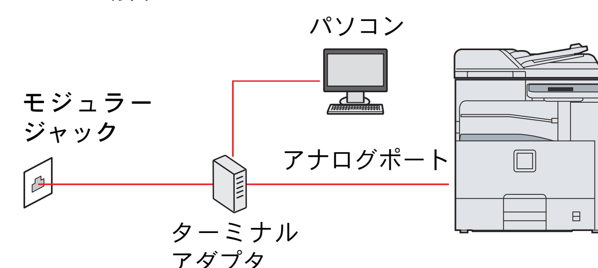
一般電話回線の場合



ADSLの場合



ISDNの場合



IP 電話回線のご使用について

ブロードバンド通信網（光ファイバー、CATV、ADSLなど）によるIP 電話回線をご利用になるときは、送/ 受信が正常に行えないことがあります。その場合はご加入の回線事業者へお問い合わせください。

ナンバーディスプレイについて

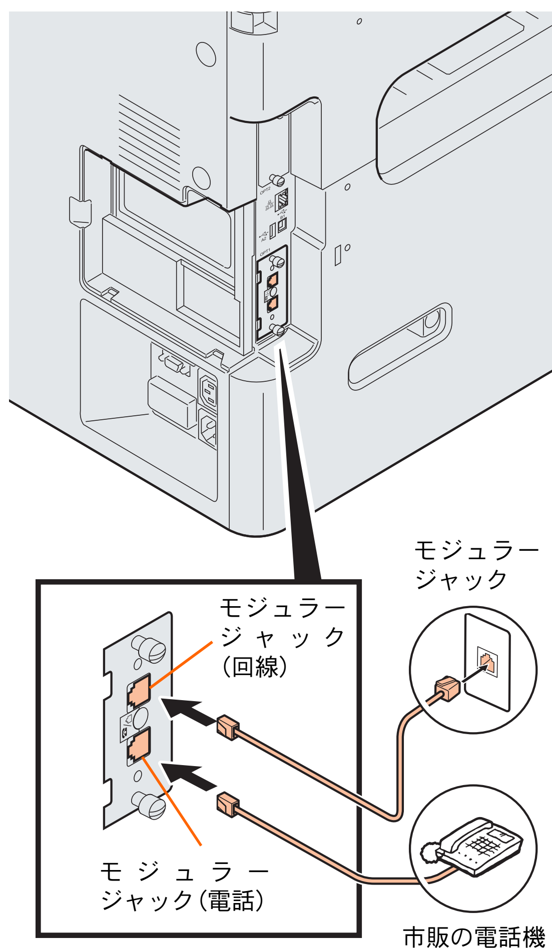
本製品はナンバーディスプレイ表示に対応していないため、ナンバーディスプレイサービスを契約している回線に接続すると、受信が正常に行えないことがあります。

モジュラーコードの接続

モジュラーコードを本体のモジュラージャックに接続してください。

市販の電話機を接続する場合は、本体のモジュラージャック（電話）に接続してください。

本製品に接続するモジュラーコードは2芯のものを使用してください。4芯のモジュラーコードは使用できません。



アドレス帳の登録

ファクスの宛先を登録する手順を説明します。ファクス以外の宛先の登録方法は、使用説明書６章「アドレス帳の登録」の「宛先（個人）の登録」を参照してください。

アドレス帳に宛先を登録します。アドレス帳の登録方法には、個人登録および複数の個人登録をまとめて登録するグループ登録の2種類があります。

宛先（個人）の登録

アドレス帳に新しい宛先を登録します。最大200件の宛先が登録できます。各宛先には、宛先名、ファクス番号、Fコード、暗号通信、送信開始速度、ECMが登録できます。

ワンポイント
ユーザー管理が有効の場合は、管理者の権限でログインしてください。

システムメニュー / カウンター

1

2 [∨]または[∧]を押して[アドレス帳 / ワンタッチ]を表示します。

3 [アドレス帳/ワンタッチ]を選択します。

4 [アドレス帳]を選択します。

5 [+]を押して宛先を追加します。

6 登録方法を選択します。

7 名前を入力します。

8 [次へ>]を押します。

9 ふりがなを入力します。

10 [次へ>]を押します。

11 [アドレス番号]を選択します。

12 [−]、[+]またはテンキーを押し、アドレス番号を設定します。

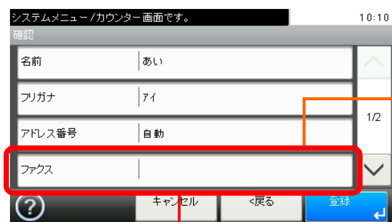
13 [OK]を押します。

アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。個人登録200件、グループ登録50件の合計250件の中から、空いている番号を選択できます。

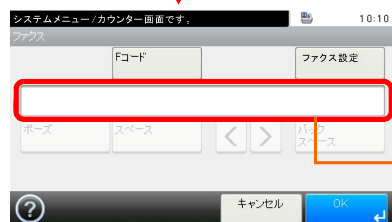
「000」が表示されている場合は、自動的に空いている番号を割り当てます。

次のページへ続く

解像度を設定する



14 [ファクス]を選択します。



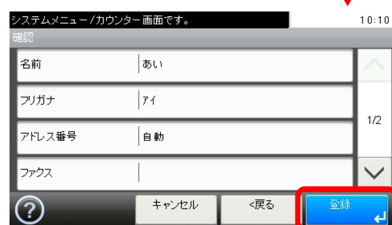
15 テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

ワンポイント
[ファクス詳細]を押して、送信開始速度、ECMと暗号送信を設定することができます。
[Fコード]を押して、Fコードを設定することができます。

▶ファクス使用説明書 2 章「宛先を登録する」参照



16



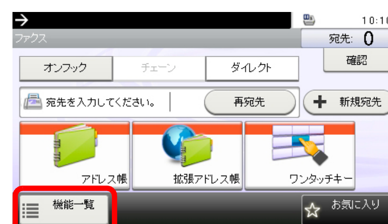
17 [登録]を押すと、宛先が登録されます。

読み込み解像度

画像の細かさを設定します。
設定できる解像度は次の通りです。

200 × 100 dpi ノーマル	普通の大きさの文字の原稿を送るとき
200 × 200 dpi ファイン	比較的小さい文字や細い線のある原稿を送るとき
200 × 400 dpi スーパー（スーパーファイン）	微細な文字や線のある原稿を送るとき
400 × 400 dpi ウルトラ（ウルトラファイン）	微細な文字や線のある原稿をさらにきれいに送るとき

ワンポイント
細かく読み込むほど（数値が大きいほど）画質は向上しますが、データ容量が大きくなり、読み込み時間と送信時間が長くなります。

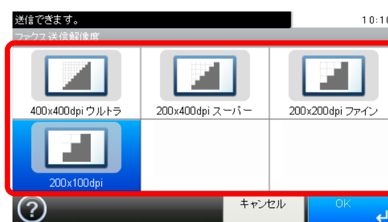


1



[∨]または[∧]を押してファクス送信解像度]を表示します。

[ファクス送信解像度]を選択します。 2



ファクス送信解像度を設定します。 3

読み込む濃度を調整する

濃度調整

濃度を7段階から調整します。原稿をどの程度細かく読み込むかを選択します。

1

2 [∨]または[∧]を押して[濃度]を表示します。

[濃度]を選択します。

3 [-3]～[+3](うすく～こく)から濃度を選択します。

原稿に合わせて画質を選択する

原稿の画質

原稿の種類に合わせて、画質を処理します。

文字＋写真	文字と写真が混在している原稿に適しています。
写真	写真原稿に適しています。
文字	えんぴつや細線をくっきり再現します。
文字(OCR用)	OCR処理に適した画像で読み込みます。

1

2 [∨]または[∧]を押して[原稿の画質]を表示します。

[原稿の画質]を選択します。

3 原稿の画質を選択します。

べんりな機能

知っておくとべんりな機能をご紹介いたします。

資料をきれいに作りたい

ステープルするために余白をつける（とじしろ）

ファイリングする資料を作るときなどに便利です。
原稿の画像の位置をずらして、印刷物を綴じるためのとじしろ（余白）をつけます。
両面コピーのときは、おもてとうらのとじしろを同じ位置に合わせることもできます。

▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「とじしろ」参照

印刷のうら写りを防止したい（うら写り防止）

うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。

▶使用説明書 3 章「共通の操作」の［うら写り防止］参照

効率よく作業したい

サイズが違う原稿を一度に読み込む（原稿サイズ混載）

会議の資料を作るときなどに便利です。
サイズの異なる原稿を一緒にセットすることができるので、原稿サイズが変わるたびに、原稿をセットしなおす必要がなくなります。

▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「原稿サイズ混載」参照

効率よく作業したい

送信するメールの件名と本文を入力する（件名と本文の入力）

文書の内容が分かるようにしてメール送信したいときに便利です。
メール送信するとき、メールに件名と本文をあらかじめ入力することができます。
件名や本文に送信する文書の内容を入力することで、受け取った相手が識別しやすくなります。

▶使用説明書 6 章「送信する」の「メール 件名/本文」参照

複数の送信方法で同時に送信する（複合送信）

送信方法が違う宛先に、かんたんに送りたいときに便利です。
メール送信やSMB 送信、ファクス送信など、種類の違う宛先を指定して送信できます。
1回の操作で送信できるので、作業の効率がアップします。

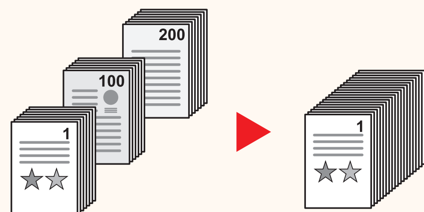
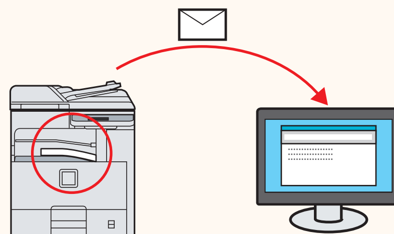
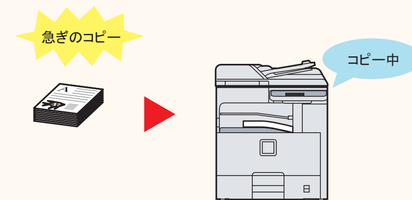
▶使用説明書 6 章「送信する」の「種類の異なる相手への送信（複合送信）」参照

複数の宛先に同じ原稿をファクスする（同報送信）

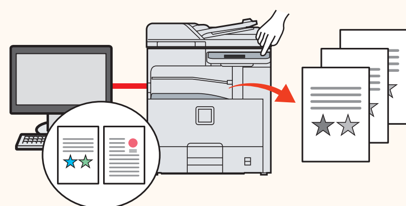
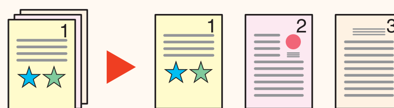
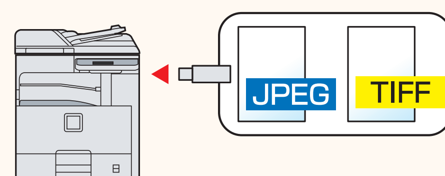
同じ原稿を複数の宛先にファクスしたいときに便利です。
ダイヤルと送信を自動的に繰り返すことで、複数の宛先に同じ原稿をファクス送信できます。
1 回の操作で複数の宛先にファクスできるので、作業の効率がアップします。

▶ファクス使用説明書 3 章「相手先の入力方法」の「同報送信」参照

効率よく作業したい

数回に分けて読み込んだ原稿をまとめて処理する（連続読み込み）	印刷や送信が終わったことをメールで知らせる（ジョブ終了通知）	急ぎのコピーを優先する（優先印刷）
		
枚数の多い資料を作るときなどに便利です。 原稿の量が多くて原稿送り装置に一度にセットできないようなとき、数回に分けて読み込み、一度にまとめて印刷や送信することができます。 ▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「連続読み込み」参照	文書を処理している間に、他の作業をしたいときなどに便利です。 大量の文書を処理するときや、他の作業が立て込んでいるときなど、印刷が終わったことを自分のパソコンにメールで知らせることができます。 印刷が終わるまで近くで待っている必要がないので、無駄な時間が省けます。 ▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「ジョブ終了通知」参照	急ぎのコピーをしたいときに便利です。 他の人が大量にコピーしているときに急ぎで印刷したい原稿があるとき、優先的にコピーすることができます。 優先印刷が終わると、中断していた作業が再開されます。 ▶使用説明書 3 章「共通の操作」の「優先印刷」参照

効率よく作業したい

印刷する文書やジョブを保存する（ジョブ保存）	1ページごとにファイルを作成し、送信する（ファイル分割）	USBメモリーから印刷するときのべんり機能（JPEG/TIFF印刷方法）
		
定期的に使う文書をかんたんに印刷したいときに便利です。 印刷する文書を、パソコン から本機に保存します。 印刷設定などが省けるので、他の人に作業を頼むこともできます。 ▶使用説明書 5 章「プリントする」の「ジョブボックスの使い方」参照	1ページごとにファイルを作成するときに便利です。 一括で読み込んだ原稿を1ページずつファイルを作成して送信します。 ファイル名の最後には、「xxx_001.pdf、xxx_002.pdf」のような3 桁の通し番号がつきます。 ▶使用説明書 6 章「送信する」の「ファイル分割」参照	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します 。 ▶使用説明書 7 章「文書ボックスを使う」の「JPEG/TIFF印刷方法」参照

効率よく作業したい

USBメモリーから印刷するときのべんり機能（XPS印刷サイズ調整）

XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します 。

▶使用説明書７章「文書ボックスを使う」の「XPS印刷サイズ調整」参照

次のファクス送信を予約する（送信予約 ）

通信中に原稿を読み込んで、次の送信を予約できます。通信が終わると、自動的に予約した送信を開始します。

▶ファクス使用説明書４章「ファクスを送信する」の「送信予約」参照

経費を節約したい

トナーの消費をおさえて印刷する（エコプリント）

トナーを節約したいときに便利です。
試し印刷や社内での確認用資料など、内容が確認できればいい程度の資料を作成するときに使用すると、トナーを節約できます。
高品質な印刷が必要でないときに利用できます。

▶使用説明書４章「コピーする」の「エコプリント」参照

もっと使いこなしたい

文書に名前をつける（文書名入力）

履歴やステータスを確認するときに便利です。
ジョブに名前や日時、ジョブ番号の情報をつけることができます。

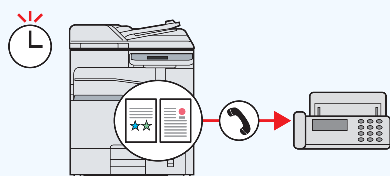
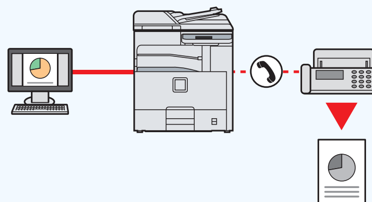
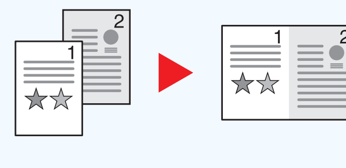
▶使用説明書３章「共通の操作」の「文書名入力」参照

USB メモリーを使う（USB メモリー）

外出先で文書を印刷したり、パソコンが使えないときなどに便利です。
USB メモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されている文書を印刷します。
また、本機で読み込んだ文書をメモリーに保存することもできます。

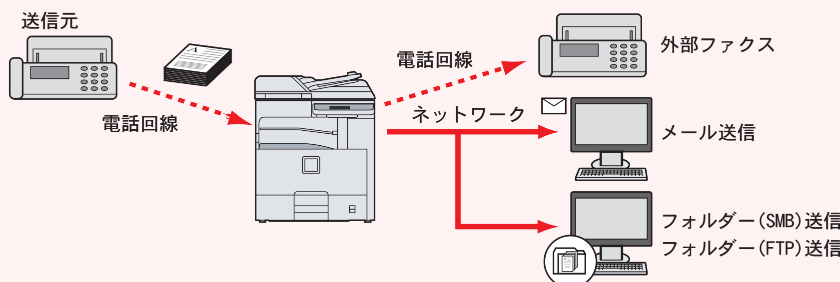
▶使用説明書
７章「文書ボックスを使う」の「USBメモリーから印刷する」参照

経費を節約したい

通信費を削減してファクスする（タイマー送信）	パソコン からファクスを送受信する（Network FAX）	複数枚原稿を一枚原稿にする（ページ集約）
		
通信費を削減したいときに便利です。通信費が安い時間帯にタイマーをセットして、通信費を削減できます。同じ宛先のファクスを同じ時間にセットすることで、1 回の通信でまとめて送ることもできます。。 ▶ファクス使用説明書 4 章「ファクスを送信する」の「タイマー送信」参照	ファクスするときの用紙を節約したいときに便利です。ファクスする文書を印刷することなく、パソコン から送受信ができるので、用紙などの削減と共に作業の効率がアップします。 ▶ファクス使用説明書 6 章「べんりなファクス機能を使う」の「Network FAX」参照	2枚の原稿を1枚の用紙に集約する2in1、4枚の原稿を1枚の用紙に集約する4in1でコピーすることができます。また、原稿の境目の位置に境界線を入れることもできます。境界線は実線・点線・マークから選べます。 ▶使用説明書 4 章「コピーする」の「ページ集約」参照

もっと使いこなしたい

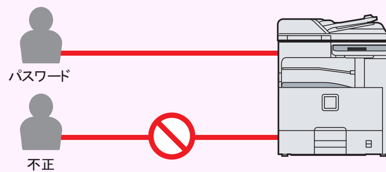
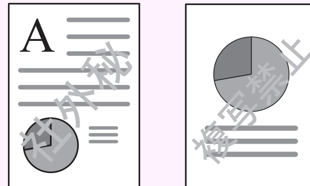
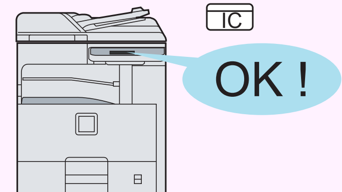
受信したファクスを転送する
（メモリー転送 ）



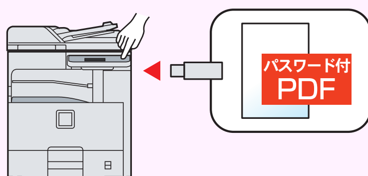
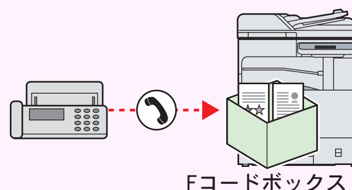
受信したファクスを他のファクスやパソコンに自動的に転送します。

▶ファクス使用説明書 6 章「べんりなファクス機能を使う」の「メモリー転送」参照

セキュリティーを強化したい

部外者の使用を防ぐ （ユーザー管理）	文書の不正使用を防ぐ （セキュリティーウォーターマーク）	IC カードでログインする （IC カード認証）
 	 	
登録されたログインユーザー名とパスワードを持っている人しか複合機を使えないようにすることができます。 ▶使用説明書 9 章「設定・登録・ユーザー管理を行う」の「ユーザー管理を行う」参照	印刷する文書に、コピーすると浮き出る地紋を埋め込みます。「社外秘」や「複写禁止」などの状態を示して、不正使用を防ぐことができます。 ▶プリンタードライバー操作手順書 9 章「拡張機能」の「セキュリティーウォーターマーク」参照	ログインユーザー名やパスワードを入力することなく、IC カードをタッチするだけでログインできます。 ▶ICカード認証キットの使用説明書参照

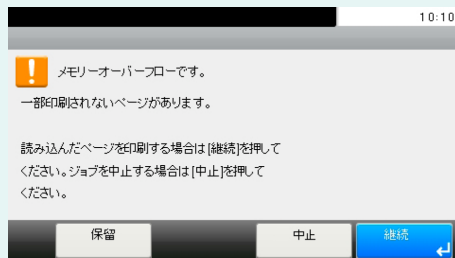
セキュリティーを強化したい

PDFにパスワードを設定する （PDF暗号化機能）	ファクス受信した原稿を他人に見られないようにする（Fコードボックス機能 ）
 	
ファイル形式がPDFの時に、パスワードによるセキュリティーを使って、文書の表示、印刷、編集に制限を追加することができます。 ▶使用説明書 7 章「文書ボックスを使う」の「暗号化PDFパスワード」参照	ファクス受信した原稿を印刷せずにFコードボックスに保存します。大切な原稿を排出トレイに放置することがなくなり、情報の漏洩や原稿の紛失を防ぎます。 ▶ファクス使用説明書 6 章「べんりなファクス機能を使う」の「Fコードボックス機能」参照

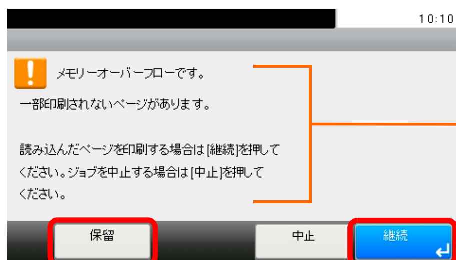
エラーが発生したら

エラーが発生すると、印刷が停止し、タッチパネルにエラー状況が表示されます。

エラーガイダンスのみかた



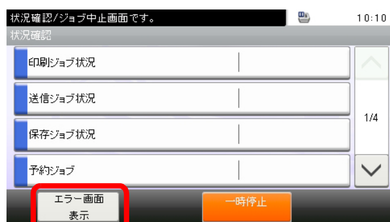
エラー内容を確認して、適切な処理を行ってください。



エラー内容と処理方法が表示されます。

ボタン	説　明
継続	ジョブを継続します。
中止	ジョブを中止します。
終了	エラーによりジョブが中止された場合は、[終了]が表示されます。エラー内容を確認してください。[終了]を押すとエラー表示が閉じます。

ステータス画面を表示し、ジョブの状況を確認できます。

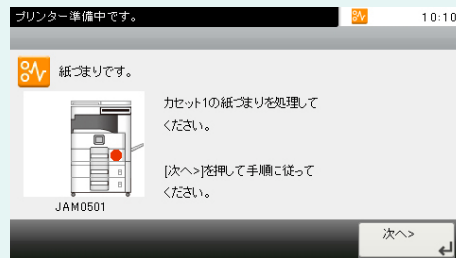


[エラー画面表示]を押すと、エラー表示に戻ります。

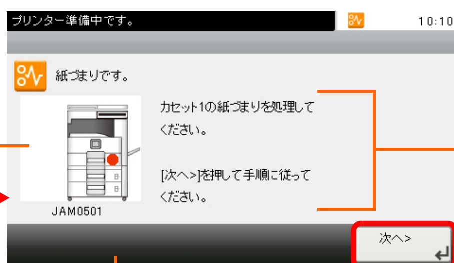
紙づまりが発生したら

紙づまりが発生すると、印刷が停止し、タッチパネルに「**紙づまりです。**」が表示されます。

紙づまりガイダンスのみかた



タッチパネルに表示された手順に従って紙づまりを処理してください。

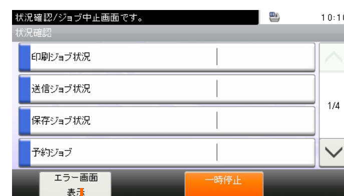


処理の方法を表示します。

処理の手順を表示します。

次の手順を表示します。

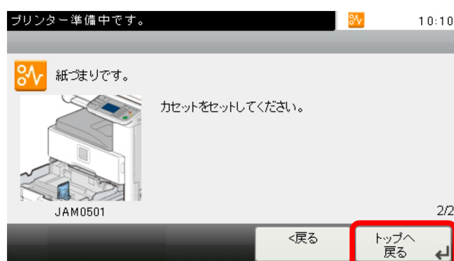
ステータス画面を表示し、ジョブの状況を確認できます。



[エラー画面表示]を押すと、紙づまりガイダンスに戻ります。



前の手順を表示します。



最初の手順を表示します。

トナーコンテナ・廃棄トナーボックスの交換

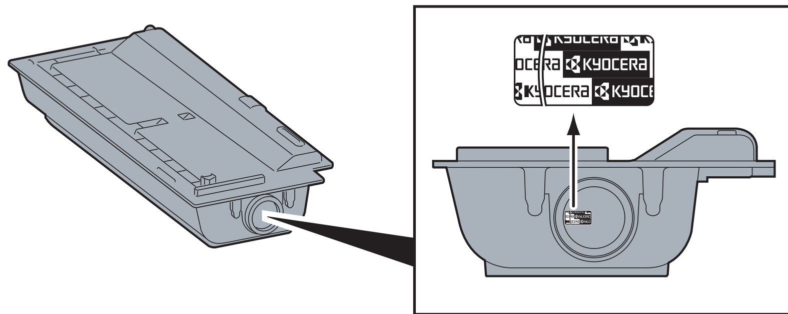
トナーコンテナ

トナーコンテナは、タッチパネルに「**トナーがありません。**」と表示されたときに交換してください。

トナーコンテナの交換方法については、使用説明書10章「こんなときには」の「トナーコンテナを交換する」を参照してください。

トナーコンテナのご購入や相談は、京セラミタジャパンにお問い合わせください。（廃棄トナーボックスはトナーコンテナに付属しています。）

印刷品質維持のため、トナーコンテナは京セラミタ純正品の使用をおすすめします。
京セラミタ製品には、数々の品質検査に合格した京セラミタ純正品のトナーコンテナをご使用ください。
純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。
純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。
京セラミタ純正消耗品には、以下のホログラムシールが貼られています。



廃棄トナーボックス

廃棄トナーボックスは、タッチパネルに「廃棄トナーボックスを確認してください。」が表示されたときに交換してください。

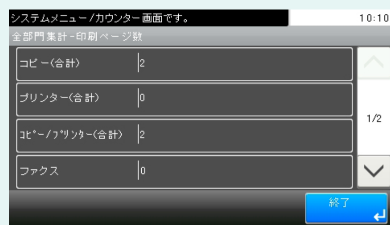
新しい廃棄トナーボックスはトナーコンテナに付属しています。

廃棄トナーボックスは交換まで保管しておいてください。

廃棄トナーボックスの交換方法については、使用説明書10章「こんなときには」の「廃棄トナーボックスを交換する」を参照してください。

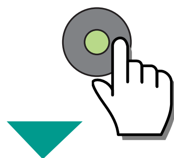
カウンターの確認とレポートの印刷のしかた

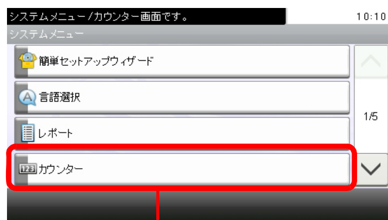
カウンターの確認

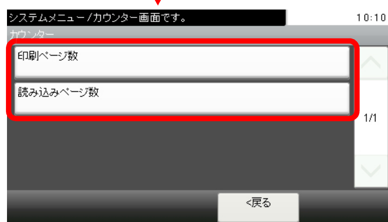


[システムメニュー/カウンター]キーを押して[カウンター]を選択すると、本機で行った印刷や読み込みの枚数を確認できます。

◈ システムメニュー / カウンター









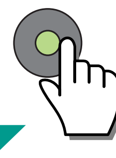
カウントされる項目や詳細な確認方法については、使用説明書 3 章「共通の操作」の「カウンターの確認」を参照してください。

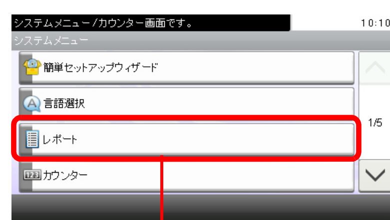
レポートの印刷



[システムメニュー/カウンター]キーを押して[レポート]を選択すると、本機の設定や状態を確認するため、各種レポートを印刷することができます。

◈ システムメニュー / カウンター







ステータスページやネットワークステータスなど、印刷するレポートのキーを押してください。



画面をスクロールして、ファクスリスト(見出し)やファクスリスト(番号)を印刷することもできます。

「印刷します。よろしいですか？」が表示されますので、[はい]を押してください。レポートが印刷されます。

ファクスの送信/受信履歴

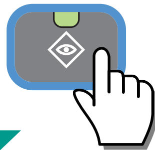
ファクスジョブの送信/受信履歴の確認

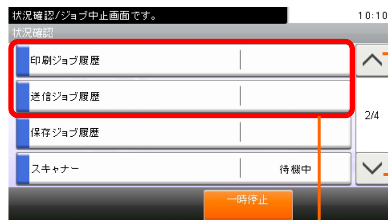


[状況確認/ジョブ中止]キーを押して**[送信ジョブ履歴]**を選択すると、送信結果を確認することができます。**[印刷ジョブ履歴]**を選択すると受信結果を確認することができます。

ワンポイント
部門管理が有効である場合でも、部門コードに関係なく、送信結果、受信結果それぞれ100件が表示されます。

状況確認/
ジョブ中止



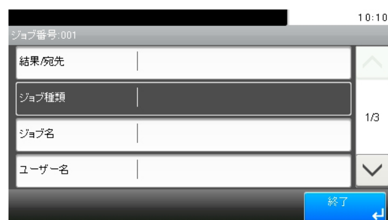


[∨]または[∧]を押して、[印刷ジョブ履歴]または、[送信ジョブ履歴]を表示させます。

[印刷ジョブ履歴]または、[送信ジョブ履歴]を選択します。



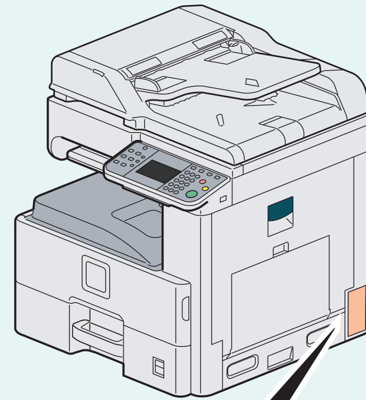
リストから確認したいジョブの[...]を押すと詳細画面が表示されます。



詳細については、ファクス使用説明書 8 章「通信結果や登録した内容の確認」を参照してください。

本機のシリアル番号の確認

シリアル番号の確認





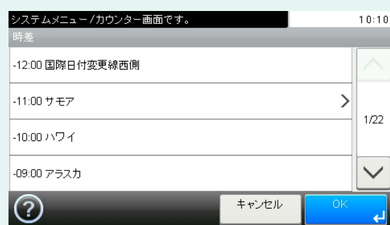
本体のシリアル番号は、図の位置に記載しております。

ワンポイント
本機のシリアル番号はお問い合わせの際に必要となる場合があります。お問い合わせの際は、シリアル番号の確認を行ってからご連絡をお願いいたします。

日付と時刻の設定

日付と時刻を設定します。ご使用の地域の日付と時刻を入力してください。

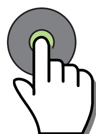
時差を設定する

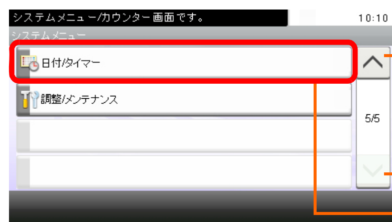


ワンポイント

管理者権限を持つユーザーでログインする必要があります。12ページの工場出荷時のユーザー名とパスワードについてを参照してください。

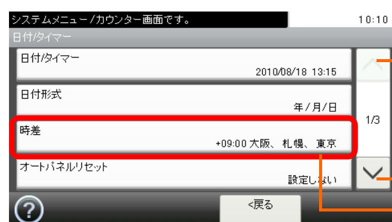
◈ システムメニュー / カウンター





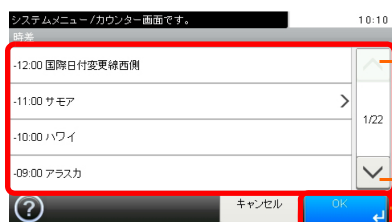
1 [﹀]または[︿]を押して、[日付/タイマー]を表示させます。

2 [日付/タイマー]を選択します。



3 [﹀]または[︿]を押して、[時差]を表示させます。

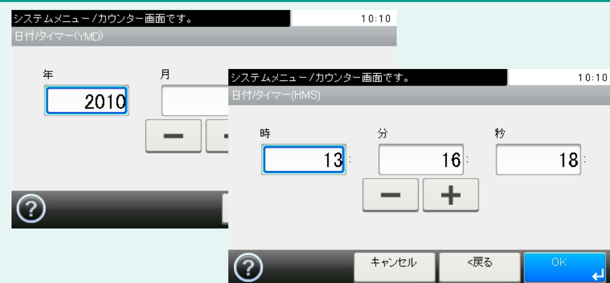
4 [時差]を選択します。



5 [﹀]または[︿]を押して設定したい地域を表示させ、選択します。

6 [OK]を押します。

日付と時間を入力する



1 [﹀]または[︿]を押して、[日付/タイマー]を表示させます。

2 [日付/タイマー]を選択します。

3 「年」、「月」、「日」を入力します。

4 [次へ>]を押します。

5 「時」、「分」、「秒」を入力します。

6 [OK]を押します。

商標について

- Microsoft、MS-DOSおよび、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- AppleTalkは、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- 本製品には、Independent JPEG Groupのソフトウェアが含まれています。
- その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™および®は明記していません。

MEMO



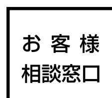
お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社
京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp





0570-046562

受付時間
● 9:00～17:00
（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）

市内通話料金でご利用いただけます。

初版　2010.10

302K356010

